

# がん診療連携拠点病院等 院内がん登録

2012-2013 年 5 年生存率集計 報告書

国立がん研究センター がん対策情報センター  
がん登録センター 院内がん登録分析室

令和 3(2021)年 4 月  
国立がん研究センター がん対策情報センター

---

## がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2012-2013 年 5 年生存率集計の公表について

---

国立がん研究センターでは、がん対策情報センター・がん登録センターを中心に、これまで全国がん登録及び院内がん登録の標準化や体制整備に努めて参りました。院内がん登録は、2007 年診断症例から全国のがん診療連携拠点病院のデータを収集し、院内がん登録全国集計として我が国のがん診療の実態を把握する資料となるよう、毎年、全国集計報告書を公表しています。院内がん登録情報をもととした生存率集計としては 5 年生存率、科学的根拠に基づく情報をより迅速に提供するために 5 年より早い段階での生存率として、3 年生存率を公表して参りました。

この度、がん診療連携拠点病院をはじめ全国 476 施設から 2013 年診断症例の 5 年予後情報付データを提供いただきました。このうち、集計基準である生存状況把握割合が 90%以上であった 383 施設のデータと、2012 年診断症例について同様の基準をクリアした合計 413 施設 826,380 件のデータを用いて、2012-2013 年 5 年生存率集計報告書をまとめました。

本報告書の内容のうち、がんや病期、年階級別の生存率の結果詳細については、Web 上の院内がん登録生存率集計結果閲覧システムからご覧いただけます。本集計結果が、がん対策立案やがん患者さんへの情報・資料として活用されることを期待します。

令和 3 年 4 月

国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長

中釜 斉

## 生存率について

がん医療を評価する重要な一つの指標として、生存率がある。伝統的に、診断後あるいは治療後 5 年経過した時の生存率が治癒の目安とされており、がん(部位)によっては 10 年生存率が治癒の目安とされることもある。この報告書では、がん診療連携拠点病院 2012、2013 年全国集計の結果を踏まえて、2012-2013 年に診断された例の 5 年生存率を集計した。

信頼性の高い生存率を算定するためには、患者の生存確認を行うことが重要であるため、自施設への来院情報だけにたよらずに、患者の生存状況を把握する生存確認調査(いわゆる予後調査)が必須となる。この生存状況の把握が不十分な場合には真の値よりも高い生存率となることが知られている。また、生存率は生存状況把握割合以外にも生存率を算出した対象集団の基礎疾患の頻度や年齢分布などの偏りなどによっても大きな影響が出る。このように生存率の結果の解釈には様々な要因が影響することに留意する必要がある。

### 1) 生存状況把握割合の意味

生存率の算出において、先行研究における試算では、生存状況把握割合によって院内のデータのみを使って計算した場合、5 年相対生存率が真の値よりも 10~15% 高く推定されてしまうことがあるとの報告がある。そのため、我が国で先行して施設別生存率の公表をしてきた全国がんセンター協議会の集計方法<sup>1)</sup>を踏まえて、生存状況把握割合が 90%以上であることを基準として、この基準を全がんにおいて達成した施設のデータのみを集計の対象とした。この生存状況把握割合は国際的には 95%以上が望ましいとされており、わが国の院内がん登録でもより高い把握割合をめざすべきであると考えられる。

### 2) 生存率の種類

生存率には、その算出の仕方によって大きく「実測生存率」、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」に分けられる。

「実測生存率」は、死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する～年後の生存患者の割合で示される。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier 法が頻用され、医療機関の公表する生存率は Kaplan-Meier 法による実測生存率であることが多い。本報告においても、実測生存率については Kaplan-Meier 法を用いて計算している。

一方で、がんによる生存への影響を把握したいときには、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が用いられる。「疾病特異的生存率」は、実測生存率で計算される対象にはがん以外の死因による死亡も死亡の中に含まれるため、がん以

外の死因による死亡を、「打ち切り」として計算している。この疾病特異的生存率を正確に推定するためには、がんが死因でないかどうかを判定できなければならず、そのために原死因を用いて判定するか、それ以外の死因も含めて判定するかで結果が変わってくる。現在の日本の現状において、この死因の把握はかなり困難である。

これに対し、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」は、実測生存率を対象と同じ性・年齢・診断年(歴年)の一般の日本人集団で「がんではなかった場合の生存率」という考えによる期待生存率を算出し、それで、実際の生存率を割って算出する方法である。疾患特異的生存率のように個々の死因を把握する必要がないため、国際的によく用いられている。

この期待生存率の算出方法の違いから、Ederer I 法、Ederer II 法、Hakulinen 法などがこれまでに開発されてきており、それぞれ特徴があるが、相対生存率に変わる方法として、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が目まされている。本集計においては、従来からわが国で推奨されてきた Ederer II 法を用いた。

### 3) 既存の生存率集計

現在までに、原則として全国を対象とし、かつ臓器別ではなく、全がんを対象として公表されてきたがんの 5 年生存率には、地域がん登録によるもの、全国がんセンター協議会によるものがあり、これらは全て相対生存率で算出されている。

本集計は、人口ベースのデータに近い、臓器別の全国データや、都道府県別データであるため、実測生存率とともに、相対生存率を算出した。

### 4) 生存率をどう解釈するか

本集計による生存率は、既存の地域がん登録や全国がんセンター協議会の集計結果に比べても、より広汎な集計データといえるが、それでも拠点病院と一部の都道府県推薦病院に限ってのデータであることに留意する必要がある。更に、都道府県別の集計結果を記載しているが、施設数が少ない都道府県のデータについてはかなりの偏りあるいは不正確さが存在していることを想定する必要がある。このため、ここで示した生存率が、単純に当該都道府県のがん医療の優劣ではないことに留意する必要がある。なお、本報告書では、生存率に影響を与えることが想定される情報で、かつ院内がん登録としてデータ収集されている情報として、①性、②年齢、③病期(がんの進行状況)、④観血的治療の有無(手術されたか、されなかったか)などを参考資料として併記して示している。

1) 全がん協調査などでは、消息判明率と呼ばれてきたが、本報告書ではこの呼び方で表記する。

参考資料

- がん登録実務者のためのマニュアル 生存率解析 味木和喜子  
2001年9月、大阪府立成人病センター調査部
- がん専門施設における生存率計測の標準化 木下洋子他、  
癌の臨床 第46巻第10号、2000年9月、篠原出版新社

## 目 次

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2012-2013 年 5 年生存率集計の公表について .....	2
生存率について.....	3
I 2012-2013 年 5 年生存率集計 調査方法 .....	6
1. 収集の対象と方法.....	6
(1) 収集の対象.....	6
(2) 収集方法.....	6
(3) 収集項目と定義.....	6
2. 集計の対象と集計方法.....	7
(1) 集計の対象.....	7
(2) 集計の手順.....	7
(2) 集計項目の定義.....	8
(3) 集計方法.....	9
(4) 公表の対象.....	9
II 2012-2013 年 5 年生存率集計 結果概要.....	13
1. 調査参加施設と登録数.....	13
2. 集計対象.....	13
3. 相対生存率集計対象者.....	13
III 2012-2013 年 5 年生存率集計 結果詳細(全体) :悪性新生物<腫瘍> .....	25
1. 全がん.....	25
2. 胃癌.....	28
3. 大腸癌.....	30
4. 肝細胞癌と肝内胆管癌.....	36
5. 小細胞肺癌と非小細胞肺癌.....	40
6. 女性乳癌.....	44
7. 食道癌.....	45
8. 膵臓癌.....	47
9. 子宮頸癌.....	49
10. 子宮内膜癌.....	50
11. 前立腺癌.....	51
12. 膀胱癌.....	52
13. 喉頭癌.....	54
14. 胆嚢癌.....	56
15. 腎癌.....	58
16. 腎盂尿管癌.....	60
17. 甲状腺癌.....	62
18. 女性卵巣癌.....	67
付表(2012-2013 年 5 年生存率集計).....	69
1. 集計対象施設一覧.....	

## I 2012-2013 年 5 年生存率集計 調査方法

## 1. 収集の対象と方法

## (1) 収集の対象

本集計では、2020 年 7 月 10 日時点のがん診療連携拠点病院等 447 施設、小児がん拠点病院 6 施設と 2015 年診断例、2013 年診断例または 2008 年診断例(2013 年 5 年、2008 年 10 年予後情報付収集と同時収集のため)について院内がん登録全国集計(0 年集計)にデータ提出した都道府県推薦病院 311 施設に調査を依頼した。データ収集に当たっては、院内がん登録 2013 年診断例の通年データを持ち、死亡日、最終生存確認日、生存期間等の生存状況情報を含めたデータ提出が可能と考えられる上記の調査依頼施設に、「予後情報付集計」の名称で、2013 年 5 年予後情報付登録情報の提供を依頼した。調査対象例は、2013 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に、自施設で診断または他施設で既に診断されて自施設に初診した、全悪性新生物(がん)及び頭蓋内の良性及び良悪性不詳の腫瘍の登録患者\*である。これら対象例の 5 年予後情報付の登録情報(以下「予後情報付腫瘍データ」という。)の提供を各施設に依頼した。なお、各施設における登録対象患者は、下記の通りである。

なお、2012 年診断例については院内がん登録 2012 年 5 年生存率集計報告書に記載したとおり、2019 年度にデータ収集を行ったデータを用いた。

## \* 各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断された初診患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。セカンドオピニオンのみを目的とした初診に関しては登録対象とするかどうかは各施設の判断に任されている。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種と判断されるがんが同時または時間をあけて(異時性に)生じた場合には、多重がんとして登録される。なお、多重がんの判断は各施設に任されている。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数の病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。(本全国集計では提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。)

## (2) 収集方法

2013 年診断例のデータは、2020 年 7 月 10 日に、対象施設に、「院内がん登録予後情報付集計 手順書」を送付し、手順書に従って作成されたデータの提供を依頼した。データは、エラーチェックのための品質管理ツールを用いインターネット(ネットワーク型)を通しての提出を依頼した。データ収集期間は、2020 年 8 月 11 日から 9 月 4 日までとした。

提出においては、「がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式登録項目とその定義 2006 年度版

修正版)において定義された標準項目(以下「標準項目」と略す。)を満たす腫瘍データを収集した。項目の品質管理(定義通りの項目・区分で登録されているか、関連する項目間の登録内容に矛盾はないか等)については、ネットワーク型ではデータの收受の段階で品質管理を実施し、論理矛盾がない状態でのデータ提供への協力を依頼した。なお、健総発第 0907001 号「がん診療連携拠点病院で実施する院内がん登録における必須項目の標準登録様式に係る改正等」において定義された必須項目のみでのデータ提供についてはデータ精度管理上の問題から集計対象としなかった。

## (3) 収集項目と定義

収集項目は、前述の診断から 5 年後の生存状況の情報を含む標準項目である。また、予後情報付腫瘍データの提出にあたり、下記の計算式に従って、追跡期間(日数)を計算し入力するよう依頼した。

## \* 追跡期間(日数)の計算方法

追跡期間(日数)とは、起算日から生存最終確認日もしくは死亡日までの日数とする。起算日は、後述する集計用診断日決定のルールに従って決定する。追跡終了日とは、予後調査結果が死亡であり死亡日があれば死亡日、生存の場合は生存最終確認日とする。

$$\text{追跡期間 (日)} = \text{追跡終了日} - \text{起算日} + 1$$

本集計に関連する項目について以下に記述する。その他の標準項目の定義は、2013 年全国集計報告書を参照いただきたい。

## i. 診断区分

診断区分は、わが国の地域がん登録との整合性を図るために用いられている分類で、「1:初発(治療開始前)」、「2:治療開始後」に分けられる。この項目は当該腫瘍について自施設に受診する前に他施設において既に治療が開始されていたか否かを区別するもので、この項目が「1:初発(治療開始前)」であったケースでは、自施設で行われた治療は初回治療とみなす。本来であれば、一連の治療方針の下で施設を問わずに初回治療とされるべきであるが、わが国の現状では、施設が異なると、一連の治療であるかないかが判明しないことが多く、そのため、他施設での治療の情報は、初回治療であっても「初回治療なし」とするルールを定めている。

## ii. 症例区分

症例区分は生存率の算定等で対象となる患者範囲を決定する重要な区分である。院内がん登録の機能の一つには、各施設の対がん医療活動の評価のための基礎資料を提供することにある。他施設と比較し自施設のがん診療実態を把握するためには、がん対象例を正しく識別する必要がある。この項目では、初回診断(登録

施設での診断の有無)と初回治療(登録施設における初回治療の有無)の組み合わせにより患者を分類するための区分を登録している。本集計では、原則として「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を分析対象とする。また、施設によっては前述の診断区分のみを入力している施設もあり、本集計では診断区分の組み合わせから症例区分を算出する対応表を用いて集計を行った。

### iii. 臨床病期

#### 治療前ステージ

UICC (Union for International Cancer Control) の定める病期の分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前につけられたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用される癌取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。胃、乳房、肝臓、大腸、肺についてのみ、標準項目とされているが、他のがんについては任意の登録となっている。肝臓については、取扱い規約のステージも標準項目として登録することになっている。

前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類されるか、空白のままで登録される。わが国の診療情報に関わる施設間の情報交換に関する懸念からこのような方針をとっている。

#### 術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に対して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には空欄で、術前に化学療法や放射線療法、免疫・内分泌療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が予想されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。定義上は、原発巣に対する切除術が行われ、断片が陰性であるような治療的な切除が行われた場合に本ステージが評価できるとされている。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

なお、2012、2013年登録対象はUICC TNM 第7版準拠で登録されている。

### iv. 治療の有無

院内がん登録において登録される治療は、登録対象となったがんに対する初回治療である。初回治療とは治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれない。当初経過観察が計画されていたが、病状が悪化したために治療が行われた場合なども「初回治療なし」となる。また、症状緩和的な目的で行われた手術や放射線治療は、部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから登録対象に対する治療の一環に考えるが、腫瘍に影響のない、鎮痛剤や制吐剤などの治療は、「治療あり」としない。

現時点の院内がん登録では、「i 診断区分」で既に述

べたとおり、登録施設で行われた治療のみを「初回治療あり」としている。

#### ① 手術・体腔鏡的治療

手術とは一般に外科的治療を指し、体腔鏡とは麻酔下に行われる腹腔鏡、胸腔鏡などの手術を指す。これらには、消化管や気管支内視鏡による治療を含めない。

#### ② 内視鏡治療

上記で除外された、消化管、気管支内視鏡などによる治療を指す。

#### ③ 放射線治療

原発巣に対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。小線源療法も放射線治療として登録される。

#### ④ 化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法

症状緩和のための薬物療法(鎮痛剤、制吐剤)などは含まない。また、通常の静注・経口化学療法だけではなく、肝動脈化学塞栓療法(TACE)に含まれる化学療法や動注療法も化学療法に分類される。内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

#### ⑤ 外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度を登録する。ここでは、初回治療として行った総合的な結果を記載する。つまり、最初内視鏡的な治療を行ったが、その後外科的な追加切除が行われた場合は、外科的切除の根治度を登録する。

## 2. 集計の対象と集計方法

### (1) 集計の対象

生存率集計における集計対象は、2012、2013年に診断された例で次の i から iii を満たす例を集計対象とした。

#### i. 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を集計対象とした。

#### ii. 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

本集計では、原則として新生物<腫瘍>の性状コード3の「悪性、原発部位(悪性新生物<腫瘍>)」の例を集計対象とした。但し、脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患については、良性、良性又は悪性の別不詳の例を含めて集計対象とした。また、GISTの良性または悪性の別不詳を集計対象に含めた。

#### iii. 年齢

診断時の年齢が0から99歳までの例を集計対象とした。

### (2) 集計の手順

#### ① 集計対象例の選定

提出されたデータから上記の i から iii に該当する例

を抽出した。

i 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

集計対象施設から提供されたデータを、表 1-1 集計用診断日の決定のルール、及び表 1-2 集計用症例区分の決定のルールに基づいて、「項目：集計用診断日」、「項目：集計用症例区分」を作成した。その後、集計用症例区分が 2, 3 であった例を集計対象とした。

ii 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

原則として、「項目：330 組織診断名コード」の新生物<腫瘍>の性状を表す第 5 桁コードが「3:悪性、原発部位」であった例を集計対象とした。但し、一部の脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患、ICD-O-3 の局在コードが「C70.0, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3」の場合は、「0: 良性」又は「1: 良性又は悪性の別不詳」であった場合も集計対象に含めた。また、GIST の良性または悪性の別不詳を集計対象に含めた。

iii 年齢

年齢は、生年月と集計用診断年月を用いて、院内がん登録全国集計と同様に下記の定義で求めた。

診断年月の月 >= 生年月日の月

⇒ 診断年月の年-生年

診断年月の月 < 生年月日の月

⇒ 診断年月の年-生年-1

上記で求めた年齢が 0~99 歳までの例を集計対象とした。

上記で選定した例から、下記の㉗~㉙に該当する場合は集計対象から除外した。

㉗ 性別不詳の場合

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾していないかを確認した上で、性別が不詳(項目：性別が 9)であった者を除外した。性別で特有の臓器に発生した腫瘍について矛盾があった場合は、臓器に基づいて性別を修正した上で集計した(例：前立腺と登録があった場合に性別が女性として登録されていたら、男性として集計)。

㉘ 追跡終了日の年月が不明の場合

追跡終了日は、「項目 660：予後調査結果」が死亡であった場合は死亡日、生存であった場合は最終生存確認日となる。ただし、死亡例であっても死亡日の年または月が不明の場合は、打ち切り扱いとし、生存最終確認日を追跡終了日とした。追跡終了日の年あるいは月が不明であった場合は、集計対象から除外した。

㉙ UICC TNM 分類総合ステージが 0 期の場合

病期は、患者の予後を予測する上で重要である。院内がん登録では、UICC TNM 分類に基づく治療の選択

と評価に不可欠である臨床分類(治療前ステージ)と、術後アジュバント療法の指針となり、予後推定や遠隔成績の計算のための追加情報を提供する術後病理学的分類ステージについて情報を収集している。本集計では、腫瘍切除例(外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果が、1: 治癒切除、2: 非治癒切除、3: 治癒/非治癒の別不詳)については腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法あるいは免疫・内分泌療法などを施行後の腫瘍切除例(術後病理学的ステージ適応外例)及び術後病理学的ステージが不詳であった例を除き、UICC TNM 分類術後病理学的ステージをより患者の治療前の病期を表すとして UICC TNM 分類総合ステージとして用いた。腫瘍切除例以外は UICC TNM 分類治療前ステージを UICC TNM 分類総合ステージとして用いた。なお、本集計では総合ステージが 0 期であった場合は、集計対象から除外した。

㉚ 追跡期間(日数)の確認

追跡期間(日数)は正確な生存率を算出するために必須の項目である。2012、2013 年診断例については、品質管理において、登録された追跡期間の確認を行っている。

㉛ 集計対象施設の選定

生存率の推定値は、生存状況把握割合に影響を受ける。5 年生存率を計算する場合には、対象者全員の 5 年後の生存状況を把握することが必要となる。これまで、全国がんセンター協議会は、加盟施設の生存率を公表してきた。その中で、がんの生存率は生存状況把握割合を 100%に近づけるほど、真の値に近づくとされ、概ね 95%以上の生存状況把握割合を維持する必要があるとされている。しかしながら、現在の院内がん登録における生存確認調査の実施においては、障害も多く、調査を実施しても生存状況が確認できず、生存状況把握割合が低い施設も存在する。また全国がんセンター協議会の生存率公表においても、改善が要するとされつつも生存状況把握割合が 90%を超えた場合に施設の生存率が公表されてきた。これらの経緯を踏まえ、本集計では前述の集計対象例の生存状況把握割合が 90%以上の施設を集計対象とした。具体的には、予後調査結果が生存であるが追跡期間(日数)が 5 年未満の打ち切り例が施設の生存率集計対象例の 10%未満である施設を集計対象施設とした。

生存状況把握割合 = (1 - 打ち切り例数 / 集計対象例数) × 100

(2) 集計項目の定義

● 部位区分

表 1-3 部位分類コード対応に基づき、作成した。

● 臨床病期

UICC TNM 分類総合ステージ

2012、2013 年診断例では、UICC TNM 分類第 7 版に準拠して UICC TNM 分類の治療前及び術後病理学的



ステージが登録されている。

本集計では、がん患者の予後に影響するステージとして、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合(適応外、不詳、空欄を除く)は術後病理学的ステージを、無い場合は治療前ステージを用いて、UICC TNM 分類総合ステージとして集計に用いた。なお、本集計では、各施設で登録されたステージの値を用いて集計をしており、登録されている TNM 情報からみてステージが UICC TNM 分類のステージと一致しない場合であってもデータに修正は加えていない。

各生存率の集計対象は、表 1-4 の部位・組織形態コードとする。

#### ● 観血的治療

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度について、「項目 520:外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果」に登録することとなっている。登録の際には、「1:原発巣-治癒切除」、「2:原発巣-非治癒切除」、「3:原発巣-治癒/非治癒の別不詳」、「4:姑息/対象治療、転移巣切除」、「8:その他」、「9:不詳」の中から一つを選択する。本集計では、観血的治療の有無、外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度別に生存率を集計した。

### (3) 集計方法

※四捨五入の関係で、計算が一致しないことがあります。

前述のとおり選定された集計対象例・集計対象施設において、5年後の生存状況変数を作成し生存率を推定した。追跡期間(日数)が5年未満でかつ予後調査結果が死亡であった場合は、5年後の生存状況=死亡(1)とした。

生存率は、Kaplan-Meier 法を用いた実測生存率と、国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録

センターにおいて作成されたコホート生存率表(2016年版)を用い、Ederer II 法を用いた相対生存率を推定した。なお、本報告書では StataMP 16.0 (Stata Corporation, College Station, TX, USA)を用い、Paul W. Dickman らが開発したstrsを用いて相対生存率を推定している。

がんごとの集計では、集計対象定義に基づいて集計を行った。なお、上皮内がん(総合ステージ 0 期)については生存状況把握割合の算出の際には対象に含めていないが、上皮内がんの生存率を算出することも重要との判断から、全がん(上皮内がん除く)で生存状況把握割合が 90%以上の施設のデータを用いて算出した。

### (4) 公表の対象

令和 2 年度第 1 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会での検討に基づき、以下の公表基準に沿って、生存率を公表する。

生存率の推定値は、対象例数、死亡者数等の件数に依存する。一般に対象例数が 30 例未満の場合、推定された生存率の信頼性が低くなるため、本集計では対象例数が 30 例未満の場合は、5 年生存率を公表しないこととする。なお、各集計表において、集計値が 10 未満の場合、個人が特定される可能性が高いことから、厚生労働省平成 28 年 8 月 4 日第 8 回がん診療提供体制のあり方に関する検討会での検討に従い 1-3 件、4-6 件、7-9 件といった形で公表する。

なお、都道府県別生存率については、当該都道府県で集計対象が 1 施設となる場合は表示していない。

#### 参考資料

- 1) 全国がんセンター協議会. 全がん協加盟施設におけるがん患者生存率公表にあたっての指針(案) 2004/11/25版 厚生労働省がん研究助成金「地域がん専門診療施設におけるソフト面の整備拡充に関する研究」班

表1-1 集計用診断日決定のルール

集計用症例区分	集計用診断日	備考
1:診断のみ	診断日2	
2:自施設診断自施設治療	診断日2	
3:他施設診断自施設治療	当該腫瘍初診日	
4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例	当該腫瘍初診日	*
5:剖検	診断日2	死亡日
8:その他	診断日2、当該腫瘍初診日のいずれか	*

\* 優先する集計用診断日となる日付が登録されていない場合、診断日 2、当該腫瘍初診日、診断日 1、入院日の中で、2012、2013年の日付の項目を用いて作成した。

表 1-2 集計用症例区分の決定のルール

診断区分	診断施設	治療方針	集計用症例区分
1:初発	1:自施設診断	1:自施設で治療	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	3:自施設で経過観察	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	4:他施設へ紹介	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	8:来院中断	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	9:その他	1:診断のみ
1:初発	2:他施設診断	1:自施設で治療	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
1:初発	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
1:初発	2:他施設診断	9:その他	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	1:自施設で治療	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	9:その他	8:その他

症例区分が登録されているケースでは症例区分を優先、症例区分が登録されていない例では、診断区分・診断施設・治療方針から上記のルールで変換した集計用症例区分を用いて集計用症例区分を作成した。

表 1-3 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・咽頭		C00-C14
食道		C15
胃		C16
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C32
肺		C33-C34
骨・軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚(黒色腫を含む)		C44
乳房		C50
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
膀胱		C67
腎・他の尿路		C64-C66、C68
脳・中枢神経系		C700、C71、C722-C729、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

※全がんの集計対象の部位分類であり、生存率集計はがん種別となっていることに留意

表 1-4 各生存率の集計対象

	局在コード	組織形態コード
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8157 (但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8157 (但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
肝細胞癌	C220	8170-8175
肝内胆管癌	C221	8013, 8041, 8148, 8160-8161, 8180, 8246, 8980
小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8041-8045
非小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8000-8157 (但し、8041-8045、8013 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980
乳癌 (女)	C500-509	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8982
食道癌	C150-155, 158, 159	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
膵臓癌	C250-253, 257, 259	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8971
前立腺癌	C619	8000-8157 (但し、8120-8131 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮頸癌	C530-531, 538, 539	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮内膜癌	C540-543, 548, 549	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980
膀胱癌	C670-679	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
甲状腺癌 (乳頭・濾胞癌)	C739	8050, 8230, 8260, 8290, 8330-8332, 8335, 8337, 8340-8344, 8350
甲状腺癌 (未分化癌)	C739	8020, 8021
甲状腺癌 (髄様癌)	C739	8345
胆嚢癌	C23.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
喉頭癌	C32.0,32.1,32.2,10.1	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎	C64.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎盂尿管	C65.9,66.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
卵巣癌 (女)	C56	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8620, 8940-8941, 8980, 9000, 9014-9015, 9060, 9071, 9070, 9072, 9080, 9100, 9085

## Ⅱ 2012-2013年5年生存率集計 結果概要

### 1. 調査参加施設と登録数

調査を依頼した 764 施設(がん診療連携拠点病院等 447 施設、小児がん拠点 6 施設、都道府県推薦病院 311 施設)のうち、476 施設(がん診療連携拠点病院等 382 施設、小児がん拠点 1 施設、都道府県推薦病院 93 施設)から 5 年予後情報付腫瘍データが提供された(協力率 62.3%、がん診療連携拠点病院等 88.5%、都道府県推薦病院 28.1%)。表 2-1-1 に 2013 年診断例の全登録数と集計対象を示す。なお、2012 年診断例については、2012 年 5 年生存率報告書をご覧ください。

### 2. 集計対象

(1) 集計の対象 (2013 年診断例)

① 集計対象例の選定

i 自施設診断自施設初回治療及び他施設診断自施設初回治療

提出されたデータ全体で、「自施設診断・自施設初回治療(症例区分 2)」が 418,081 例(61.0%)、「他施設診断・自施設初回治療(症例区分 3)」が 133,569 例(19.5%)であり、全登録数の 80.5%を占めた。

ii 悪性新生物<腫瘍>

症例区分 2, 3(自施設診断・自施設初回治療又は他施設診断・自施設初回治療)のうち悪性新生物<腫瘍>(新生物<腫瘍>の性状コードが 3)は、479,171 例(86.9%)であった。脳腫瘍の良性又は良性・悪性の別不詳を合わせると集計対象腫瘍例は、490,896 例(89.0%)であった。

iii 年齢

診断時の年齢を見ると、100 歳以上が 169 例あり、生存率集計からは除外した。年齢別にみると、70 歳代が 32.4%と最も多く、次いで 60 歳代が 28.0%であった。

上記で選定した例から、性別不詳及び追跡終了日不明または UICC TNM 分類総合ステージ 0 期の合計 233 例を集計対象から除外した。

② 追跡期間(日数)の確認

5 年予後情報付データ収集では、品質管理において追跡期間の確認を行った。なお、追跡終了日(死亡例の場合は、死亡日の年月、生存例の場合は、生存最終確認日の年月)が不明の場合は集計対象から除外した。但し、死亡例で死亡日の年月が不明であっても、生存最終確認日の年月が判明している場合は、生存最終確認日を追跡終了日とし、打ち切り例として集計した。

(2) 生存状況把握割合

各施設における集計対象例に対する生存状況把握割合について検討した結果、最も低かった施設の生存状況把握割合は、23.8%で、最も高かった施設は 100.0%であった。都道府県・施設別生存状況把握割合について図 2-1 に示した。以降の集計結果では、2013 年診断

例で生存状況把握割合が 90%以上であった 383 施設と 2012 年診断例で同様に把握割合が 90%以上であった施設を合わせて、合計 413 施設における登録例を集計対象とした。

### 3. 相対生存率集計対象者

2013 年診断例の全がんで生存状況把握割合が 90%以上であった 383 施設(がん診療連携拠点病院等 331 施設、小児がん拠点 1 施設、都道府県推薦病院 52 施設)、において集計対象例は、420,170 例であった。

表 2-1-1 調査参加施設の全登録数と集計対象

	集計対象外施設		集計対象施設		全体	
	93 施設	(%)	383 施設	(%)	476 施設	(%)
<b>全登録数</b>	99,495	100.0	585,337	100.0	684,832	100.0
<b>症例区分別登録数</b>						
1. 診断のみ	7,156	7.2	33,155	5.7	40,311	5.9
2. 自施設診断・自施設初回治療	62,943	63.3	355,138	60.7	418,081	61.0
3. 他施設診断・自施設初回治療	16,702	16.8	116,867	20.0	133,569	19.5
4. 初回治療開始後・再発	9,132	9.2	58,535	10.0	67,667	9.9
5. 剖検	46	0.0	309	0.1	355	0.1
6. 不明・その他	3,516	3.5	21,333	3.6	24,849	3.6
症例区分 (2, 3) (再掲)	79,645	80.0	472,005	80.6	551,650	80.6
<b>症例区分 2, 3 のうち</b>						
良性	1,300	1.6	6,974	1.5	8,274	1.5
良性又は悪性の別不詳	530	0.7	2,977	0.6	3,507	0.6
上皮内癌	9,205	11.6	51,493	10.9	60,698	11.0
悪性新生物<腫瘍>	68,610	86.1	410,561	87.0	479,171	86.9
集計対象腫瘍*	70,416	88.4	420,480	89.1	490,896	89.0
<b>症例区分 2, 3、集計対象腫瘍のうち (年齢不詳除く)</b>						
年齢 0~14 歳	252	0.4	1,391	0.3	1,643	0.3
15~39 歳	2,071	2.9	12,851	3.1	14,922	3.0
40 歳代	4,246	6.0	25,578	6.1	29,824	6.1
50 歳代	7,904	11.2	48,604	11.6	56,508	11.5
60 歳代	19,403	27.6	117,995	28.1	137,398	28.0
70 歳代	22,694	32.2	136,559	32.5	159,253	32.4
80-99 歳	13,811	19.6	77,368	18.4	91,179	18.6
100 歳以上	35	0.0	134	0.0	169	0.0
0~99 歳 (再掲)	70,381	100.0	420,346	100.0	490,727	100.0
<b>除外対象 (以下重複有)</b>	79	0.1	176	0.0	255	0.1
性別不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
追跡終了日不明	0	0.0	22	1.6	22	1.3
総合ステージ 0 期	79	31.3	154	11.1	233	14.2
<b>集計対象例</b>	70,302		420,170		490,472	

\*症例区分 2, 3 のうち、悪性新生物<腫瘍>、脳・中枢神経系に発生した良性または良性・悪性の別不詳の腫瘍を含む

表 2-2-1 がん診療連携拠点病院等調査参加施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数 (2013 年診断例)

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設治 療(症例 区分 2, 3) 登録 割合	
総数			331	610,893	367,324	124,369	80.5
北海道	北海道がんセンター	集計対象	2468	1182	631	73.5	
北海道	JA 北海道厚生連 旭川厚生病院	集計対象	1526	1010	221	80.7	
北海道	王子総合病院	集計対象	1093	848	107	87.4	
北海道	市立釧路総合病院		1064	746	154	84.6	
北海道	市立札幌病院		1295	937	220	89.3	
北海道	JA 北海道厚生連帯広厚生病院	集計対象	1521	1152	233	91.1	
北海道	北見赤十字病院	集計対象	1412	839	268	78.4	
北海道	社会医療法人母恋 日鋼記念病院		648	379	66	68.7	
北海道	社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院	集計対象	1583	1221	192	89.3	
北海道	札幌医科大学附属病院		2269	997	529	67.3	
北海道	JA 北海道厚生連 札幌厚生病院	集計対象	1725	1147	311	84.5	
北海道	手稲溪仁会病院		2183	1413	356	81.0	
北海道	旭川医科大学病院		1620	880	431	80.9	
青森	青森県立中央病院	集計対象	2073	1257	442	82.0	
青森	八戸市立市民病院	集計対象	1359	911	296	88.8	
岩手	岩手県立中央病院	集計対象	1874	1369	332	90.8	
岩手	岩手県立二戸病院	集計対象	367	205	47	68.7	
岩手	岩手医科大学附属病院	集計対象	2880	1332	938	78.8	
岩手	岩手県立中部病院	集計対象	1186	732	250	82.8	
岩手	岩手県立磐井病院	集計対象	730	362	161	71.6	
岩手	岩手県立宮古病院	集計対象	472	283	57	72.0	
岩手	岩手県立胆沢病院	集計対象	966	704	151	88.5	
岩手	岩手県立大船渡病院	集計対象	562	382	52	77.2	
岩手	岩手県立久慈病院	集計対象	450	335	39	83.1	
岩手	岩手県立釜石病院	集計対象	388	227	51	71.6	
宮城	東北大学病院	集計対象	3302	1333	879	67.0	
宮城	宮城県立がんセンター	集計対象	1988	1074	428	75.6	
宮城	石巻赤十字病院	集計対象	1843	1263	243	81.7	
宮城	仙台医療センター	集計対象	1599	977	309	80.4	
宮城	大崎市立病院	集計対象	1661	1253	255	90.8	
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院	集計対象	1035	729	167	86.6	
秋田	秋田大学医学部附属病院	集計対象	1694	824	544	80.8	
秋田	JA 秋田厚生連 由利組合総合病院	集計対象	669	476	104	86.7	
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター	集計対象	744	545	104	87.2	
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院	集計対象	799	664	105	96.2	
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター	集計対象	575	395	77	82.1	
秋田	秋田赤十字病院	集計対象	1167	869	204	91.9	
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院		270	193	21	79.3	
秋田	大館市立総合病院	集計対象	661	485	112	90.3	
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター	集計対象	1072	713	179	83.2	
山形	山形県立中央病院	集計対象	2173	1368	490	85.5	
山形	山形大学医学部附属病院	集計対象	1940	900	596	77.1	
山形	山形市立病院済生館	集計対象	1031	762	101	83.7	
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院	集計対象	1014	730	187	90.4	
山形	日本海総合病院	集計対象	1600	1248	177	89.1	
福島	労働者健康安全機構 福島労災病院	集計対象	1045	695	182	83.9	
福島	坪井病院	集計対象	627	393	109	80.1	
福島	福島県立医科大学附属病院	集計対象	2287	1008	611	70.8	
福島	太田西ノ内病院	集計対象	1681	1167	333	89.2	
福島	竹田総合病院	集計対象	1269	811	205	80.1	
福島	総合南東北病院	集計対象	2165	1131	448	72.9	
福島	会津中央病院	集計対象	696	538	58	85.6	
福島	白河厚生総合病院	集計対象	767	528	69	77.8	
茨城	茨城県立中央病院	集計対象	1859	1163	401	84.1	
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1112	755	123	79.0	
茨城	土浦協同病院	集計対象	1523	1092	247	87.9	

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療（症 例区分 2）	他施設 診断自 施設治 療（症 例区分 3）	自施設治 療（症例 区分2, 3）登録 割合
茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院・茨城県地域がんセンタ ー		1552	1168	244	91.0
茨城	東京医科大学茨城医療センター	集計対象	837	620	113	87.6
茨城	友愛記念病院	集計対象	887	538	102	72.2
茨城	国立大学法人 筑波大学附属病院	集計対象	3313	1407	778	66.0
茨城	国立病院機構水戸医療センター	集計対象	1106	799	193	89.7
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院	集計対象	714	525	84	85.3
茨城	医療法人社団善仁会 小山記念病院		645	296	(7-9)	47.1
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター	集計対象	2229	1177	616	80.4
栃木	自治医科大学附属病院	集計対象	3346	1858	952	84.0
栃木	栃木県済生会宇都宮病院	集計対象	1760	1363	148	85.9
栃木	獨協医科大学病院	集計対象	2428	1631	483	87.1
栃木	那須赤十字病院	集計対象	1011	685	155	83.1
群馬	伊勢崎市民病院	集計対象	1516	1056	217	84.0
群馬	群馬県立がんセンター	集計対象	2176	1025	736	80.9
群馬	群馬大学医学部附属病院		3911	1721	1118	72.6
群馬	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター	集計対象	510	331	65	77.6
群馬	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター	集計対象	1347	945	195	84.6
群馬	公立富岡総合病院	集計対象	871	593	115	81.3
群馬	桐生厚生総合病院	集計対象	791	641	46	86.9
群馬	前橋赤十字病院	集計対象	1467	1004	265	86.5
埼玉	さいたま赤十字病院	集計対象	1519	1115	225	88.2
埼玉	埼玉県立がんセンター	集計対象	3735	1720	1076	74.9
埼玉	深谷赤十字病院	集計対象	575	455	111	98.4
埼玉	春日部市立医療センター	集計対象	876	582	83	75.9
埼玉	さいたま市立病院	集計対象	1141	853	137	86.8
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター	集計対象	2209	1305	416	77.9
埼玉	川口市立医療センター	集計対象	1332	878	194	80.5
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター	集計対象	4241	2197	1341	83.4
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院	集計対象	1186	796	141	79.0
埼玉	医療法人社団東光会 戸田中央総合病院	集計対象	792	522	88	77.0
埼玉	自治医科大学附属さいたま医療センター	集計対象	2345	1254	549	76.9
千葉	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院	集計対象	6110	2090	1864	64.7
千葉	国保旭中央病院		2362	1689	248	82.0
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	集計対象	2691	1853	438	85.1
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院	集計対象	1378	1023	139	84.3
千葉	千葉県がんセンター	集計対象	4501	1994	1260	72.3
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院	集計対象	1075	792	155	88.1
千葉	船橋市立医療センター	集計対象	1490	983	269	84.0
千葉	千葉大学医学部附属病院	集計対象	3564	1853	844	75.7
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	集計対象	944	755	83	88.8
千葉	東京歯科大学市川総合病院	集計対象	1249	869	139	80.7
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院	集計対象	1904	1318	255	82.6
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院	集計対象	1961	1326	431	89.6
千葉	松戸市立総合医療センター	集計対象	1299	620	118	56.8
千葉	日本医科大学千葉北総病院	集計対象	1223	935	154	89.0
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	集計対象	6721	2457	2041	66.9
東京	東京都立駒込病院	集計対象	4600	2016	1194	69.8
東京	青梅市立総合病院	集計対象	1210	870	105	80.6
東京	N T T 東日本関東病院	集計対象	2130	1311	411	80.8
東京	日本赤十字社医療センター	集計対象	2275	931	306	54.4
東京	日本大学医学部附属板橋病院	集計対象	2314	1447	387	79.3
東京	武蔵野赤十字病院	集計対象	2359	1632	365	84.7
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院	集計対象	3720	1909	805	73.0
東京	日本医科大学付属病院	集計対象	3114	1691	583	73.0
東京	聖路加国際病院	集計対象	2452	1314	666	80.8
東京	帝京大学医学部附属病院	集計対象	2305	1332	426	76.3
東京	東京医科大学八王子医療センター	集計対象	1548	1017	264	82.8
東京	杏林大学医学部付属病院	集計対象	2626	1729	551	86.8



都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療（症 例区分 2）	他施設 診断自 施設治 療（症 例区分 3）	自施設治 療（症例 区分2, 3）登録 割合
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院	集計対象	4530	2185	1041	71.2
東京	昭和大学病院	集計対象	2564	1516	570	81.4
東京	慶應義塾大学病院	集計対象	3816	1875	772	69.4
東京	東京都立多摩総合医療センター	集計対象	2722	1579	715	84.3
東京	公立昭和病院	集計対象	1602	1123	263	86.5
東京	虎の門病院	集計対象	3610	1719	1003	75.4
東京	東邦大学医療センター大森病院	集計対象	2381	1608	381	83.5
東京	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	集計対象	2206	1384	419	81.7
東京	東京医科歯科大学医学部附属病院	集計対象	2850	1291	722	70.6
東京	東京都立墨東病院	集計対象	1412	996	163	82.1
東京	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター	集計対象	1133	711	179	78.6
東京	東京女子医科大学東医療センター	集計対象	1042	748	237	94.5
神奈川	神奈川県立がんセンター	集計対象	3509	1606	1107	77.3
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	集計対象	2156	1595	335	89.5
神奈川	横浜市長市民病院	集計対象	1726	1170	313	85.9
神奈川	小田原市立病院	集計対象	844	571	126	82.6
神奈川	川崎市立井田病院	集計対象	956	526	72	62.6
神奈川	相模原協同病院	集計対象	1135	709	111	72.2
神奈川	横浜国立大学附属病院	集計対象	2249	1111	622	77.1
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院	集計対象	2982	1615	661	76.3
神奈川	東海大学医学部附属病院	集計対象	3687	2205	709	79.0
神奈川	藤沢市民病院	集計対象	1227	862	206	87.0
神奈川	北里大学病院	集計対象	2002	1388	509	94.8
神奈川	横浜労災病院	集計対象	1901	1193	215	74.1
神奈川	昭和大学横浜市北部病院	集計対象	2153	1229	514	81.0
神奈川	横浜市立みなと赤十字病院	集計対象	1457	926	198	77.1
神奈川	大和市立病院	集計対象	992	713	85	80.4
神奈川	関東労災病院	集計対象	1010	721	129	84.2
神奈川	恩賜財団 済生会横浜市東部病院	集計対象	2025	1234	361	78.8
神奈川	公立大学法人横浜国立大学附属市民総合医療センター	集計対象	2120	1404	535	91.5
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院	集計対象	3044	1862	964	92.8
新潟	新潟県立中央病院	集計対象	1379	977	266	90.1
新潟	新潟市民病院	集計対象	1722	1190	387	91.6
新潟	長岡赤十字病院	集計対象	1812	1330	281	88.9
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院	集計対象	1751	1231	430	94.9
新潟	新潟大学歯学総合病院	集計対象	2291	1013	835	80.7
新潟	県立新発田病院	集計対象	1255	866	234	87.6
富山	富山県立中央病院	集計対象	2571	1714	551	88.1
富山	黒部市民病院	集計対象	683	515	81	87.3
富山	富山大学附属病院	集計対象	1158	726	234	82.9
富山	厚生連高岡病院	集計対象	1237	883	200	87.6
富山	高岡市民病院	集計対象	635	510	48	87.9
富山	市立砺波総合病院	集計対象	691	558	40	86.5
石川	国立大学法人金沢大学附属病院	集計対象	2206	1078	487	70.9
石川	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター	集計対象	787	625	73	88.7
石川	石川県立中央病院	集計対象	1618	986	526	93.4
石川	金沢医科大学病院	集計対象	1110	743	185	83.6
石川	国民健康保険 小松市民病院	集計対象	778	528	105	81.4
福井	福井県立病院	集計対象	1740	1106	322	82.1
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院	集計対象	1456	981	270	85.9
福井	福井赤十字病院	集計対象	1166	909	146	90.5
福井	福井大学医学部附属病院	集計対象	1269	736	346	85.3
福井	独立行政法人国立病院機構敦賀医療センター	集計対象	159	103	19	76.7
山梨	山梨県立中央病院	集計対象	1791	1132	296	79.7
山梨	国立大学法人 山梨大学医学部附属病院	集計対象	1849	1106	333	77.8
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター	集計対象	1833	1273	382	90.3
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病院	集計対象	2463	1091	643	70.4
長野	諏訪赤十字病院	集計対象	1169	772	171	80.7

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療（症 例区分 2）	他施設 診断自 施設治 療（症 例区分 3）	自施設治 療（症例 区分2, 3）登録 割合
長野	飯田市立病院	集計対象	1041	676	174	81.7
長野	長野市民病院	集計対象	1807	1231	414	91.0
長野	長野赤十字病院	集計対象	1669	1056	343	83.8
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	集計対象	1387	834	169	72.3
長野	伊那中央病院	集計対象	907	552	204	83.4
長野	長野県立木曾病院	集計対象	129	107	(7-9)	88.4
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 北信総合病院	集計対象	603	468	68	88.9
岐阜	岐阜市民病院	集計対象	1349	995	150	84.9
岐阜	国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学医学部附属病院	集計対象	2257	1210	655	82.6
岐阜	高山赤十字病院	集計対象	587	418	36	77.3
岐阜	岐阜県総合医療センター	集計対象	1768	1255	305	88.2
岐阜	岐阜県立多治見病院	集計対象	1542	954	287	80.5
岐阜	大垣市民病院	集計対象	2280	1878	272	94.3
岐阜	社会医療法人厚生会 木沢記念病院	集計対象	1082	614	191	74.4
静岡	静岡県立静岡がんセンター	集計対象	6813	2858	2036	71.8
静岡	静岡県立総合病院	集計対象	2498	1600	557	86.3
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院	集計対象	1597	1022	223	78.0
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	集計対象	1819	1226	312	84.6
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院	集計対象	1431	1034	173	84.3
静岡	静岡市立静岡病院	集計対象	1223	1039	95	92.7
静岡	藤枝市立総合病院	集計対象	1155	834	103	81.1
静岡	浜松医科大学医学部附属病院	集計対象	1433	784	414	83.6
静岡	浜松医療センター	集計対象	1141	841	113	83.6
静岡	磐田市立総合病院	集計対象	1462	963	182	78.3
静岡	富士市立中央病院	集計対象	927	510	97	65.5
静岡	国際医療福祉大学熱海病院	集計対象	258	189	(7-9)	76.4
愛知	愛知県がんセンター	集計対象	3069	1066	1518	84.2
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	集計対象	1942	1464	239	87.7
愛知	海南病院	集計対象	1505	986	164	76.4
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター	集計対象	1906	1269	232	78.8
愛知	小牧市民病院	集計対象	1884	1448	203	87.6
愛知	豊橋市民病院	集計対象	2157	1532	294	84.7
愛知	名古屋大学医学部附属病院	集計対象	2882	1526	809	81.0
愛知	独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院	集計対象	1442	1003	217	84.6
愛知	一宮市立市民病院	集計対象	1441	1109	218	92.1
愛知	公立陶生病院	集計対象	1205	924	97	84.7
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	集計対象	1498	1162	176	89.3
愛知	名古屋市立大学病院	集計対象	1686	1035	434	87.1
愛知	名古屋第一赤十字病院	集計対象	2240	1661	274	86.4
愛知	名古屋第二赤十字病院	集計対象	2363	1531	332	78.8
愛知	藤田医科大学病院	集計対象	2968	1549	900	82.5
愛知	愛知医科大学病院	集計対象	1724	1143	316	84.6
三重	伊勢赤十字病院	集計対象	1717	1196	289	86.5
三重	松阪中央総合病院	集計対象	800	558	77	79.4
三重	三重大学医学部附属病院	集計対象	2617	1256	527	68.1
三重	三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿中央総合病院	集計対象	1156	879	112	85.7
三重	市立四日市病院	集計対象	1806	1192	328	84.2
滋賀	市立長浜病院	集計対象	701	555	67	88.7
滋賀	滋賀県立総合病院	集計対象	1454	860	267	77.5
滋賀	大津赤十字病院	集計対象	1463	1135	155	88.2
滋賀	彦根市立病院	集計対象	712	538	42	81.5
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院	集計対象	1544	945	398	87.0
京都	京都府立医科大学附属病院	集計対象	2704	1384	638	74.8
京都	京都桂病院	集計対象	1422	1179	124	91.6
京都	京都市立病院	集計対象	1484	944	148	73.6
京都	京都第一赤十字病院	集計対象	1689	1285	213	88.7
京都	京都第二赤十字病院	集計対象	1734	1277	211	85.8
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	集計対象	1931	1182	322	77.9
京都	市立福知山市立病院	集計対象	790	498	99	75.6

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療（症 例区分 2）	他施設 診断自 施設治 療（症 例区分 3）	自施設治 療（症例 区分2、 3）登録 割合
京都	京都岡本記念病院		569	345	17	63.6
京都	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院	集計対象	642	518	24	84.4
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	集計対象	2114	1432	326	83.2
大阪	市立岸和田市民病院	集計対象	1151	823	128	82.6
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター	集計対象	1091	872	93	88.5
大阪	市立豊中病院	集計対象	1846	1301	249	84.0
大阪	大阪国際がんセンター	集計対象	3456	1504	1546	88.3
大阪	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター	集計対象	2812	1600	725	82.7
大阪	大阪赤十字病院	集計対象	2431	1749	398	88.3
大阪	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター	集計対象	889	542	182	81.4
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院	集計対象	1716	1228	295	88.8
大阪	大阪医科大学附属病院	集計対象	2457	1343	693	82.9
大阪	近畿大学病院	集計対象	3362	1875	736	77.7
大阪	大阪市立大学医学部附属病院	集計対象	3505	1753	965	77.5
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	集計対象	1533	972	373	87.7
大阪	堺市立総合医療センター	集計対象	1356	872	171	76.9
大阪	八尾市立病院	集計対象	1111	825	190	91.4
兵庫	兵庫県立がんセンター	集計対象	4145	1825	1287	75.1
兵庫	神戸大学医学部附属病院	集計対象	3470	1567	942	72.3
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院	集計対象	2751	1538	530	75.2
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院		2007	1184	371	77.5
兵庫	公立学校共済組合 近畿中央病院	集計対象	881	636	109	84.6
兵庫	姫路赤十字病院	集計対象	1755	1168	404	89.6
兵庫	赤穂市民病院	集計対象	529	399	23	79.8
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院	集計対象	1055	803	137	89.1
兵庫	兵庫県立淡路医療センター	集計対象	834	588	106	83.2
兵庫	兵庫医科大学病院	集計対象	2541	1317	557	73.8
兵庫	兵庫県立丹波医療センター	集計対象	382	197	63	68.1
兵庫	神戸市立西神戸医療センター	集計対象	1507	996	239	82.0
兵庫	加古川中央市民病院		700	461	111	81.7
奈良	奈良県立医科大学附属病院	集計対象	2606	1441	618	79.0
奈良	奈良県総合医療センター	集計対象	1068	624	273	84.0
奈良	天理よろづ相談所病院	集計対象	2304	1954	212	94.0
奈良	近畿大学奈良病院	集計対象	1402	848	261	79.1
奈良	市立奈良病院	集計対象	902	601	95	77.2
奈良	南奈良総合医療センター		210	138	27	78.6
和歌山	紀南病院		705	449	108	79.0
和歌山	南和歌山医療センター		673	390	141	78.9
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	集計対象	2006	1525	265	89.2
和歌山	公立那賀病院		632	378	102	75.9
鳥取	鳥取県立厚生病院	集計対象	571	398	63	80.7
鳥取	独立行政法人国立病院機構 米子医療センター	集計対象	568	380	61	77.6
鳥取	鳥取県立中央病院	集計対象	886	752	58	91.4
鳥取	鳥取大学医学部附属病院	集計対象	1717	1118	367	86.5
島根	松江市立病院	集計対象	814	564	103	81.9
島根	松江赤十字病院		1273	984	138	88.1
島根	島根大学医学部附属病院	集計対象	1394	815	411	87.9
島根	島根県立中央病院	集計対象	1120	830	135	86.2
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	集計対象	670	522	62	87.2
岡山	岡山済生会総合病院	集計対象	1642	1025	281	79.5
岡山	岡山赤十字病院	集計対象	1111	771	133	81.4
岡山	岡山大学病院	集計対象	3092	1409	871	73.7
岡山	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	集計対象	3313	2337	502	85.7
岡山	津山中央病院	集計対象	1286	894	129	79.5
岡山	岡山医療センター	集計対象	1090	791	169	88.1
岡山	川崎医科大学附属病院	集計対象	1623	986	323	80.7
岡山	金田病院	集計対象	153	61	(7-9)	44.4
広島	広島大学病院	集計対象	2930	1689	686	81.1

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療（症 例区分 2）	他施設 診断自 施設治 療（症 例区分 3）	自施設治 療（症例 区分2, 3）登録 割合
広島	県立広島病院	集計対象	1655	1005	323	80.2
広島	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院		3100	1880	793	86.2
広島	広島赤十字・原爆病院	集計対象	1374	1018	204	88.9
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター	集計対象	1691	1020	248	75.0
広島	東広島医療センター	集計対象	971	507	115	64.1
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院	集計対象	685	463	169	92.3
広島	福山市民病院	集計対象	1731	1076	340	81.8
広島	市立三次中央病院		712	513	87	84.3
山口	地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター	集計対象	759	527	150	89.2
山口	国立病院機構 岩国医療センター	集計対象	1216	764	187	78.2
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院	集計対象	634	443	76	81.9
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院	集計対象	1434	969	235	84.0
山口	山口大学医学部附属病院		1836	963	543	82.0
山口	医療法人 医誠会 都志見病院	集計対象	298	187	19	69.1
徳島	徳島県立中央病院	集計対象	1147	811	179	86.3
徳島	徳島大学病院	集計対象	1899	1073	442	79.8
徳島	徳島赤十字病院	集計対象	1191	799	229	86.3
徳島	徳島市民病院		745	495	139	85.1
香川	香川県立中央病院	集計対象	1432	896	310	84.2
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院	集計対象	1323	934	201	85.8
香川	三豊総合病院	集計対象	1057	728	98	78.1
香川	高松赤十字病院	集計対象	1367	923	228	84.2
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院	集計対象	1572	836	413	79.5
愛媛	市立宇和島病院	集計対象	1236	804	177	79.4
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	集計対象	2939	1405	860	77.1
愛媛	住友別子病院	集計対象	590	391	41	73.2
愛媛	愛媛大学医学部附属病院	集計対象	1866	800	557	72.7
愛媛	愛媛県立中央病院	集計対象	2205	1423	327	79.4
愛媛	松山赤十字病院	集計対象	1484	1103	142	83.9
愛媛	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	集計対象	689	360	101	66.9
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院	集計対象	1688	996	435	84.8
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	集計対象	1506	863	489	89.8
高知	高知県立幡多けんみん病院	集計対象	649	396	78	73.0
福岡	久留米大学病院	集計対象	2854	1387	721	73.9
福岡	公立八女総合病院	集計対象	621	437	81	83.4
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院	集計対象	800	464	139	75.4
福岡	社会保険田川病院	集計対象	549	386	43	78.1
福岡	飯塚病院	集計対象	2208	1511	324	83.1
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	集計対象	719	501	73	79.8
福岡	北九州市立医療センター	集計対象	2250	1383	537	85.3
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	集計対象	2639	1170	679	70.1
福岡	国立大学法人 九州大学病院	集計対象	3919	1804	1066	73.2
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	集計対象	2171	1196	485	77.4
福岡	福岡県済生会福岡総合病院	集計対象	1439	787	300	75.5
福岡	福岡大学病院	集計対象	1976	1049	547	80.8
福岡	聖マリア病院	集計対象	1225	832	103	76.3
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院	集計対象	2162	1423	403	84.5
福岡	産業医科大学病院	集計対象	1903	1102	479	83.1
福岡	戸畑共立病院	集計対象	803	314	176	61.0
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院		921	616	138	81.9
佐賀	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館	集計対象	1378	755	269	74.3
佐賀	国立大学法人佐賀大学医学部附属病院	集計対象	1927	851	624	76.5
佐賀	唐津赤十字病院	集計対象	763	490	86	75.5
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター	集計対象	902	540	163	77.9
長崎	日本赤十字社 長崎原爆病院	集計対象	1099	803	186	90.0
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター	集計対象	1650	1199	354	94.1
長崎	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター	集計対象	1655	1099	327	86.2
長崎	長崎みなとメディカルセンター		973	572	108	69.9

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療（症 例区分 2）	他施設 診断自 施設治 療（症 例区分 3）	自施設治 療（症例 区分2, 3）登録 割合
長崎	国立大学法人 長崎大学病院	集計対象	2536	1339	784	83.7
長崎	長崎県島原病院		684	487	126	89.6
熊本	熊本大学病院	集計対象	2917	1541	796	80.1
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	集計対象	588	369	86	77.4
熊本	人吉医療センター	集計対象	705	413	87	70.9
熊本	熊本赤十字病院	集計対象	1785	1141	361	84.1
熊本	国立病院機構 熊本医療センター	集計対象	1583	846	327	74.1
熊本	済生会熊本病院	集計対象	1743	1038	355	79.9
熊本	荒尾市民病院	集計対象	384	259	71	85.9
大分	大分県立病院	集計対象	1293	851	267	86.5
大分	大分赤十字病院	集計対象	838	470	178	77.3
大分	大分大学医学部附属病院	集計対象	1553	733	458	76.7
大分	独立行政法人国立病院機構別府医療センター		832	576	166	89.2
大分	大分県済生会日田病院	集計対象	370	197	50	66.8
大分	中津市立中津市民病院		694	432	149	83.7
宮崎	宮崎県立宮崎病院	集計対象	1002	639	178	81.5
宮崎	国立病院機構 都城医療センター	集計対象	736	454	154	82.6
宮崎	国立大学法人宮崎大学医学部附属病院	集計対象	1707	836	423	73.8
鹿児島	鹿児島大学病院	集計対象	2180	871	745	74.1
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター	集計対象	699	357	178	76.5
鹿児島	鹿児島県立薩南病院		193	109	48	81.3
鹿児島	鹿児島県立大島病院	集計対象	278	196	49	88.1
鹿児島	済生会川内病院		673	299	120	62.3
鹿児島	独立行政法人国立病院機構 南九州病院	集計対象	427	213	70	66.3
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター	集計対象	467	188	121	66.2
鹿児島	鹿児島市立病院	集計対象	891	472	184	73.6
鹿児島	公益社団法人昭和会 今給黎総合病院	集計対象	880	408	228	72.3
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター	集計対象	347	214	40	73.2
鹿児島	社会医療法人博愛会 相良病院	集計対象	965	187	533	74.6
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院	集計対象	920	518	161	73.8
沖縄	北部地区医師会病院		253	164	28	75.9
沖縄	沖縄県立中部病院	集計対象	1012	591	156	73.8
沖縄	国立大学法人 琉球大学病院	集計対象	1344	554	464	75.7
沖縄	沖縄県立宮古病院		221	116	23	62.9
沖縄	沖縄県立八重山病院		149	73	14	58.4

表 2-2-2 都道府県推薦病院調査参加施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数 (2013 年診断例)

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分 2, 3) 登録割 合	
総数			52	73,939	50,757	9,200	81.1
北海道	斗南病院			953	547	270	85.7
北海道	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院			380	245	102	91.3
北海道	社会医療法人 製鉄記念室蘭病院			652	571	34	92.8
北海道	苫小牧市立病院			633	522	(1-3)	82.9
北海道	旭川赤十字病院			836	740	60	95.7
北海道	J A 北海道厚生連遠軽厚生病院	集計対象		344	228	14	70.3
宮城	一般財団法人厚生会 仙台厚生病院			1673	1112	336	86.6
秋田	中通総合病院	集計対象		517	339	80	81.0
秋田	市立秋田総合病院	集計対象		935	715	136	91.0
茨城	水戸赤十字病院			1282	982	128	86.6
群馬	利根保健生活協同組合 利根中央病院			382	350	(7-9)	94.0
群馬	群馬中央病院			414	403	0	97.3
群馬	群馬県済生会前橋病院	集計対象		648	336	137	73.0
埼玉	上尾中央総合病院	集計対象		1574	1111	107	77.4
埼玉	埼玉石心会病院	集計対象		964	554	68	64.5
埼玉	小川赤十字病院	集計対象		562	336	51	68.9
埼玉	秀和総合病院			444	362	32	88.7
千葉	医療法人沖縄徳洲会千葉徳洲会病院			606	359	48	67.2
東京	東京女子医科大学病院			3955	1658	1033	68.0
東京	日本医科大学多摩永山病院	集計対象		869	545	148	79.7
東京	国家公務員共済組合連合会立川病院			1385	767	176	68.1
東京	東京都立大塚病院	集計対象		642	452	55	79.0
東京	国際医療福祉大学三田病院			1322	600	222	62.2
東京	J R 東京総合病院			684	500	68	83.0
東京	東京都済生会中央病院			1121	807	104	81.3
東京	社会福祉法人 三井記念病院	集計対象		1634	871	197	65.4
東京	河北総合病院			916	592	51	70.2
東京	社会医療法人財団大和会 東大和病院	集計対象		704	503	48	78.3
東京	国立成育医療研究センター	集計対象		63	49	(7-9)	92.1
神奈川	国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院			667	552	33	87.7
神奈川	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	集計対象		1249	1043	84	90.2
神奈川	済生会横浜市南部病院			1310	952	195	87.6
新潟	済生会新潟病院			1019	701	119	80.5
富山	富山赤十字病院			877	675	77	85.7
富山	富山県済生会高岡病院			231	163	20	79.2
石川	浅ノ川総合病院			329	169	55	68.1
石川	恵寿総合病院	集計対象		407	290	26	77.6
石川	独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院	集計対象		283	199	22	78.1
石川	公立松任石川中央病院			503	454	40	98.2
石川	石川県済生会金沢病院			461	199	42	52.3
岐阜	松波総合病院	集計対象		888	758	51	91.1
静岡	沼津市立病院	集計対象		924	622	77	75.6
静岡	焼津市立総合病院	集計対象		1016	729	132	84.7
静岡	国立病院機構 静岡医療センター			608	333	47	62.5
静岡	市立島田市民病院			913	754	68	90.0
愛知	春日井市民病院	集計対象		1276	975	116	85.5
愛知	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院			1667	1255	171	85.5
三重	済生会松阪総合病院			803	541	44	72.9
三重	松阪市民病院			486	433	0	89.1
滋賀	社会医療法人誠光会 草津総合病院	集計対象		686	366	90	66.5
滋賀	近江八幡市立総合医療センター	集計対象		659	497	84	88.2
滋賀	済生会滋賀県病院	集計対象		647	478	55	82.4
京都	社会福祉法人 恩賜財団 済生会京都府病院			331	263	14	83.7
大阪	高槻赤十字病院			819	446	67	62.6
大阪	地方独立行政法人市立吹田市民病院			630	532	70	95.6

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分 2, 3) 登録割 合
大阪	大阪府済生会千里病院	集計対象	835	609	95	84.3
大阪	箕面市立病院	集計対象	884	688	79	86.8
大阪	社会医療法人 愛仁会 高槻病院		862	670	44	82.8
大阪	Panasonic 健康保険組合 松下記念病院	集計対象	822	644	54	84.9
大阪	医療法人 八尾徳洲会総合病院	集計対象	885	632	57	77.9
大阪	社会医療法人生長会 ベルランド総合病院	集計対象	1282	981	110	85.1
大阪	府中病院		958	681	171	88.9
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院	集計対象	925	684	95	84.2
大阪	関西電力病院	集計対象	664	502	81	87.8
大阪	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	集計対象	785	626	122	95.3
大阪	医療法人 警和会 大阪警察病院	集計対象	1777	1167	423	89.5
大阪	公益財団法人日本生命済生会付属日生病院		414	309	21	79.7
大阪	財団法人田附興風会 北野病院	集計対象	1674	1215	207	84.9
兵庫	神鋼記念病院	集計対象	1151	774	277	91.3
奈良	大和高田市立病院	集計対象	543	471	34	93.0
奈良	社会福祉法人恩賜財団済生会中和病院		570	382	66	78.6
鳥取	鳥取赤十字病院		661	522	53	87.0
島根	松江医療センター	集計対象	104	88	(1-3)	85.6
岡山	岡山市立市民病院	集計対象	467	341	57	85.2
岡山	一般財団法人 倉敷成人病センター	集計対象	624	460	87	87.7
広島	公立学校共済組合中国中央病院	集計対象	630	510	90	95.2
山口	独立行政法人国立病院機構山口宇部医療センター	集計対象	458	352	64	90.8
高知	高知赤十字病院		828	539	90	76.0
長崎	独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院	集計対象	970	649	145	81.9
長崎	佐世保中央病院	集計対象	621	433	67	80.5
熊本	独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター		203	144	27	84.2
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	集計対象	968	633	156	81.5
熊本	大腸肛門病センター高野病院	集計対象	221	155	34	85.5
熊本	天草地域医療センター	集計対象	338	240	53	86.7
熊本	熊本地域医療センター	集計対象	532	341	93	81.6
大分	独立行政法人国立病院機構大分医療センター	集計対象	557	343	104	80.3
鹿児島	医療法人徳洲会大隅鹿屋病院	集計対象	263	148	47	74.1
鹿児島	公益社団法人鹿児島共済会南風病院	集計対象	783	404	184	75.1
鹿児島	鹿児島市医師会病院	集計対象	485	254	183	90.1
鹿児島	今村総合病院		405	210	51	64.4
沖縄	社会医療法人敬愛会 中頭病院		975	793	52	86.7
沖縄	沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院	集計対象	180	152	(4-6)	87.8
沖縄	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	集計対象	514	337	32	71.8
沖縄	国立病院機構 沖縄病院	集計対象	338	139	63	59.8

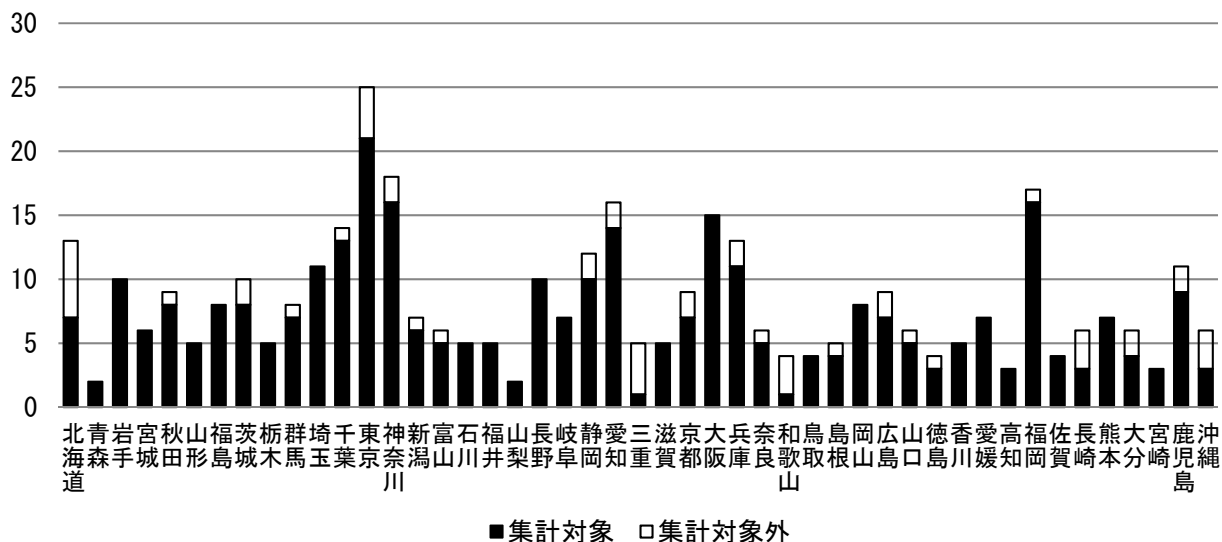


図 2-1 がん診療連携拠点病院等における都道府県・施設別生存状況把握割合 (都道府県推薦病院を除く)

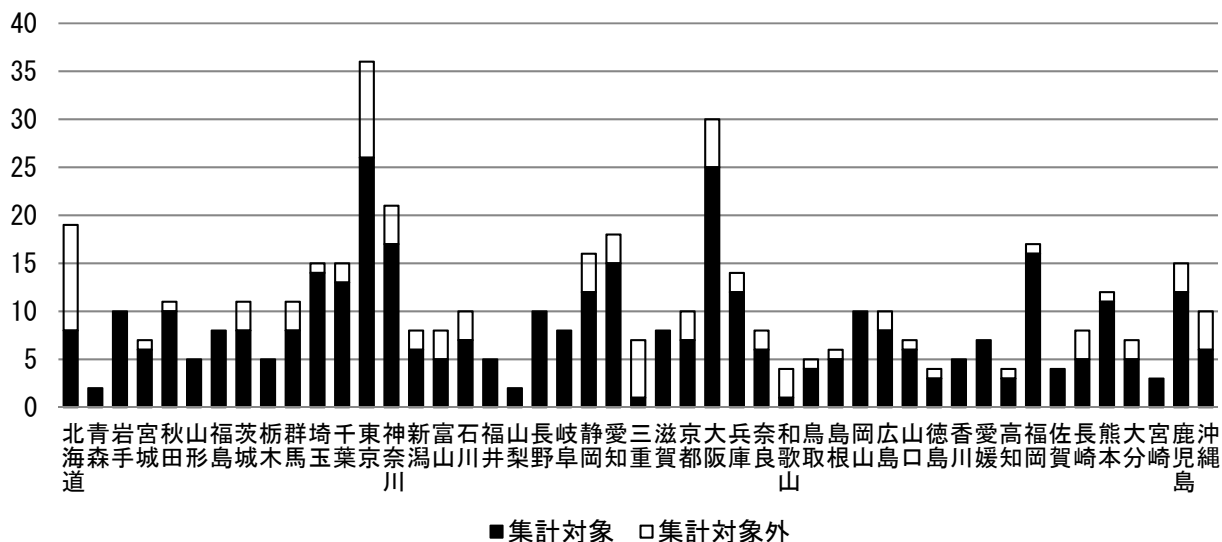


図 2-1 参考 調査参加施設における都道府県・施設別生存状況把握割合



### Ⅲ 2012-2013 年 5 年生存率集計 結果詳細(全体) : 悪性新生物<腫瘍>

#### 1. 全がん

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	413	826,380	331,681	97.9	67.8

#### (0) 全がんの生存率集計値

全がんでの生存率集計値の算定に当たり、特性が異なるがんの生存率算定の意義について疑問を呈する声もあったが、先行する地域がん登録、全国がんセンター協議会加盟施設における既存生存率集計と比較するため、ここでは院内がん登録 5 年生存率集計においても全がんでの生存率集計結果について提示する。

#### (1) 生存状況把握割合

対象者は 826,380 例で、その内 5 年以内に死亡していた者は 331,681 例、打ち切りが 17,075 例であった。全体として、生存状況把握割合は 97.9%であった。

#### (2) 対象者の属性

本集計対象者の属性を表 3-1-1 に示す。男性が 58.0%、女性が 42.0%とやや男性が多かった。診断時の年齢は、男女とも 70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代となっており、60 歳代、70 歳代で全体の 60.5%を占めた。60.5%の対象者に観血的治療が実施されており、53.7%が原発巣・治癒切除であった。発見経緯別にみると、他疾患経過観察中が 29.7%であった。部位別にみると、男性では胃、肺、前立腺、大腸の順に、女性では乳房、大腸、胃の順に多かった。

表 3-1-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	479,517	100.0	346,863	100.0	826,380	100.0
拠点病院等	448,836	93.6	325,790	93.9	774,626	93.7
都道府県推薦病院他	30,681	6.4	21,073	6.1	51,754	6.3
年齢						
平均年齢(SD)	69.3	11.7	65.8	15.0	67.8	13.3
0-15歳	1,504	0.3	1,275	0.4	2,779	0.3
15-39歳	8,754	1.8	17,001	4.9	25,755	3.1
40歳代	15,495	3.2	35,181	10.1	50,676	6.1
50歳代	47,965	10.0	50,005	14.4	97,970	11.9
60歳代	147,221	30.7	87,012	25.1	234,233	28.3
70歳代	174,485	36.4	91,642	26.4	266,127	32.2
80歳以上	84,093	17.5	64,747	18.7	148,840	18.0
観血的治療						
有	261,925	54.6	237,917	68.6	499,842	60.5
原発巣・治癒切除	232,257	48.4	211,909	61.1	444,166	53.7
原発巣・非治癒切除	21,993	4.6	18,480	5.3	40,473	4.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	7,675	1.6	7,528	2.2	15,203	1.8
無	217,592	45.4	108,946	31.4	326,538	39.5
発見経緯						
がん検診	33,799	7.0	31,315	9.0	65,114	7.9
健康診断・人間ドック	43,127	9.0	21,914	6.3	65,041	7.9
他疾患経過観察中	158,834	33.1	86,192	24.8	245,026	29.7
その他・不明	243,757	50.8	207,442	59.8	451,199	54.6
部位						
口腔咽頭	16,698	3.5	6,541	1.9	23,239	2.8
食道	22,526	4.7	3,781	1.1	26,307	3.2
胃	84,195	17.6	35,460	10.2	119,655	14.5
結腸	36,315	7.6	30,638	8.8	66,953	8.1
直腸	24,031	5.0	13,257	3.8	37,288	4.5
大腸(再掲)	60,346	12.6	43,895	12.7	104,241	12.6
肝臓	23,663	4.9	10,578	3.0	34,241	4.1
胆嚢胆管	9,662	2.0	7,869	2.3	17,531	2.1
膵臓	15,699	3.3	12,532	3.6	28,231	3.4
喉頭	6,484	1.4	454	0.1	6,938	0.8
肺	70,888	14.8	32,357	9.3	103,245	12.5
骨軟部	2,393	0.5	1,880	0.5	4,273	0.5
皮膚	10,888	2.3	10,597	3.1	21,485	2.6
乳房	420	0.1	71,842	20.7	72,262	8.7
子宮頸部	-		13,292	3.8	13,292	1.6
子宮体部	-		16,464	4.7	16,464	2.0
子宮	-		43	0.0	43	0.0
卵巣	-		10,497	3.0	10,497	1.3
前立腺	67,128	14.0	-		67,128	8.1
膀胱	12,380	2.6	3,741	1.1	16,121	2.0
腎尿路	16,831	3.5	7,453	2.1	24,284	2.9
脳神経	8,772	1.8	11,880	3.4	20,652	2.5
甲状腺	3,816	0.8	10,662	3.1	14,478	1.8
悪性リンパ腫	16,454	3.4	14,060	4.1	30,514	3.7
多発性骨髄腫	3,584	0.7	2,992	0.9	6,576	0.8
白血病	7,152	1.5	4,887	1.4	12,039	1.5
その他の血液	6,442	1.3	3,821	1.1	10,263	1.2
その他	13,096	2.7	9,285	2.7	22,381	2.7

## (3)5年生存率

表 3-1-2 に、実測生存率及び相対生存率を示す。年齢が高いほど実測生存率と相対生存率との乖離が大きくなっているが、これは若年者と比較して高齢者ではがん以外の要因で死亡する例が多くなることが影響していると考えられる。観血的治療の実施別にみると、男女ともに観血的治療有、特に原発巣・治癒切除例において生存率が高くなっていた。

表 3-1-2 属性別 5 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	54.6	64.0	63.83	64.2	66.3	71.66	71.5	71.83	59.5	67.3	67.2	67.4
拠点病院等	54.8	64.1	63.9	64.3	66.5	71.9	71.7	72.1	59.7	67.4	67.3	67.5
都道府県推薦病院	52.7	62.8	62.1	63.5	62.3	68.3	67.5	69.0	56.6	65.0	64.5	65.5
年齢												
0-15 歳	81.7	81.8	79.8	83.7	84.6	84.6	82.5	86.5	83.0	83.1	81.7	84.5
15-39 歳	78.6	78.9	78.1	79.8	86.6	86.8	86.3	87.3	83.9	84.1	83.7	84.6
40 歳代	70.9	71.6	70.9	72.4	85.6	86.1	85.8	86.5	81.1	81.7	81.4	82.1
50 歳代	65.6	67.5	67.1	68.0	78.9	80.0	79.6	80.3	72.4	73.9	73.6	74.2
60 歳代	61.3	65.7	65.4	66.0	71.9	73.9	73.6	74.3	65.2	68.8	68.6	69.0
70 歳代	53.7	63.8	63.6	64.1	61.4	66.6	66.3	67.0	56.4	64.8	64.6	65.0
80 歳以上	32.6	54.9	54.4	55.5	39.4	55.5	54.9	56.0	35.6	55.2	54.8	55.5
観血的治療												
有	70.8	82.1	81.9	82.3	81.3	87.3	87.1	87.5	75.8	84.6	84.5	84.7
原発巣・治癒切除	73.7	85.5	85.3	85.7	84.4	90.6	90.5	90.8	78.8	88.0	87.9	88.1
原発巣・非治癒切除	43.8	50.1	49.4	50.9	50.2	53.6	52.8	54.3	46.7	51.7	51.2	52.3
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	60.1	69.4	68.1	70.7	71.4	76.1	75.0	77.1	65.7	72.8	71.9	73.6
無	35.0	41.9	41.7	42.2	33.2	36.8	36.5	37.1	34.4	40.1	40.0	40.3

## 2. 胃癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	412	116,296	43,851	97.9	70.7
I期	410	72,801	12,732	97.6	70.8
II期	408	10,647	4,242	98.4	70.7
III期	408	12,021	7,533	98.5	70.4
IV期	411	19,108	17,848	98.8	69.8

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象者は、116,296例で、5年以内に死亡していた者は43,851例、打ち切りが2,390例で、生存状況把握割合は、全体で97.9%であった。

## (2) 対象者の属性

胃の集計対象者の属性を表3-2-1に示す。性別にみると、男性が7割以上を占めた。診断時の年齢は、

70歳代が最も多く、次いで60歳代となっており、60歳代・70歳代で全体の約6割以上を占めた。UICC TNM分類総合ステージを見ると、I期が62.6%、次いでIV期が16.4%を占めた。80.4%において観血的治療が実施されており、74.9%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が32.1%であった。

表3-2-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	82,354	100.0	33,942	100.0	116,296	100.0
拠点病院等	76,638	93.1	31,533	92.9	108,171	93.0
都道府県推薦病院	5,716	6.9	2,409	7.1	8,125	7.0
年齢						
平均年齢 (SD)	70.5	9.9	70.9	12.1	70.7	10.6
0-15歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39歳	512	0.6	623	1.8	1,135	1.0
40歳代	1,859	2.3	1,434	4.2	3,293	2.8
50歳代	7,690	9.3	3,220	9.5	10,910	9.4
60歳代	25,083	30.5	8,314	24.5	33,397	28.7
70歳代	31,890	38.7	11,595	34.2	43,485	37.4
80歳以上	15,319	18.6	8,756	25.8	24,075	20.7
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	52,325	63.5	20,476	60.3	72,801	62.6
II期	7,389	9.0	3,258	9.6	10,647	9.2
III期	8,301	10.1	3,720	11.0	12,021	10.3
IV期	13,201	16.0	5,907	17.4	19,108	16.4
不詳	1,138	1.4	581	1.7	1,719	1.5
観血的治療						
有	66,438	80.7	27,032	79.6	93,470	80.4
原発巣・治癒切除	62,054	75.4	25,057	73.8	87,111	74.9
原発巣・非治癒切除	3,572	4.3	1,641	4.8	5,213	4.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	812	1.0	334	1.0	1,146	1.0
無	15,916	19.3	6,910	20.4	22,826	19.6
発見経緯						
がん検診	8,514	10.3	3,251	9.6	11,765	10.1
健康診断・人間ドック	10,648	12.9	3,306	9.7	13,954	12.0
他疾患経過観察中	27,720	33.7	9,586	28.2	37,306	32.1
その他・不明	35,472	43.1	17,799	52.4	53,271	45.8

## (3)5年生存率

男女別にみた5年相対生存率はほぼ同様であった。年代別にみると、80歳以上では相対生存率と実測生存率の差が広がる傾向があった。また、観血治療を受けた者では、相対生存率は全体で87.2%であった。

表 3-2-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	61.0	72.3	71.9	72.7	64.3	71.5	70.9	72.0	62.0	72.1	71.8	72.4
拠点病院等	61.3	72.6	72.2	73.0	64.7	71.9	71.3	72.5	62.3	72.4	72.1	72.7
都道府県推薦病院	57.2	68.5	66.9	70.0	58.5	66.0	63.7	68.2	57.6	67.7	66.4	69.0
年齢												
0-39歳	62.8	63.1	58.7	67.1	59.9	60.1	56.0	63.8	61.2	61.4	58.5	64.2
40歳代	73.2	74.0	71.9	76.0	69.8	70.2	67.7	72.5	71.7	72.3	70.7	73.9
50歳代	73.4	75.5	74.5	76.6	72.3	73.3	71.7	74.8	73.1	74.9	74.0	75.7
60歳代	69.0	74.0	73.4	74.6	72.0	74.1	73.1	75.1	69.8	74.0	73.5	74.6
70歳代	61.0	72.7	72.0	73.3	68.5	74.5	73.5	75.4	63.0	73.2	72.6	73.7
80歳以上	40.3	67.2	65.9	68.5	47.6	65.2	63.7	66.6	42.9	66.4	65.5	67.4
UICC TNM 総合ステージ												
I期	80.5	95.6	95.2	96.0	87.1	97.1	96.5	97.6	82.3	96.0	95.7	96.4
II期	58.1	68.5	67.1	69.8	63.9	70.8	68.9	72.6	59.9	69.2	68.1	70.3
III期	35.7	41.4	40.2	42.6	39.2	42.9	41.2	44.6	36.8	41.9	40.9	42.9
IV期	5.6	6.4	5.9	6.8	5.8	6.2	5.6	6.9	5.6	6.3	6.0	6.7
不詳	12.3	16.8	14.2	19.5	9.3	12.5	9.5	16.0	11.3	15.3	13.3	17.5
観血的治療												
有	74.0	87.2	86.8	87.6	78.8	87.1	86.5	87.6	75.4	87.2	86.9	87.5
原発巣・治癒切除	76.7	90.3	89.9	90.7	82.2	90.8	90.3	91.3	78.3	90.5	90.2	90.8
原発巣・非治癒切除	29.8	36.5	34.7	38.4	30.0	33.8	31.3	36.4	29.9	35.7	34.2	37.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	57.8	69.2	65.0	73.2	58.8	65.6	59.4	71.3	58.1	68.1	64.7	71.4
無	6.7	8.5	8.0	9.0	6.9	8.3	7.6	9.0	6.7	8.4	8.0	8.8

## 3. 大腸癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	411	101,421	36,887	98.0	69.7
0期*	407	35,826	4,734	95.8	67.7
I期	410	26,665	4,602	97.6	69.3
II期	409	26,852	6,408	98.0	71.2
III期	408	26,466	8,301	98.1	68.9
IV期	410	19,941	16,374	98.4	68.5

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象 101,421 例のうち、5 年以内に死亡していた者は 36,887 例、打ち切りが 2,060 例で、全体として生存状況把握割合は 98.0%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3①-1 に示す。性別にみると、女性より男性がやや多く男性が 57.9%を占めた。診断時の

年齢は、男女ともに 70 歳代が最も多かった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I、II、III 期ともに 25%前後にばらついていた。87.0%の対象者がなんらかの観血的治療を受けており、78.4%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 23.8%、がん検診が 10.6%、健康診断・人間ドックが 7.9%であった。

表 3-3①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	58,752	100.0	42,669	100.0	101,421	100.0
拠点病院等	53,670	91.4	38,979	91.4	92,649	91.4
都道府県推薦病院	5,082	8.6	3,690	8.6	8,772	8.6
年齢						
平均年齢 (SD)	69.1	11.0	70.4	12.4	69.7	11.6
0-14 歳	(4-6)		(1-3)		(4-6)	
15-39 歳	708	1.2	643	1.5	1,351	1.3
40 歳代	2,238	3.8	2,050	4.8	4,288	4.2
50 歳代	6,923	11.8	4,882	11.4	11,805	11.6
60 歳代	18,504	31.5	10,856	25.4	29,360	28.9
70 歳代	20,145	34.3	13,314	31.2	33,459	33.0
80 歳以上	10,230	17.4	10,923	25.6	21,153	20.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	23,621	-	12,205	-	35,826	-
I期	16,384	27.9	10,281	24.1	26,665	26.3
II期	15,340	26.1	11,512	27.0	26,852	26.5
III期	14,640	24.9	11,826	27.7	26,466	26.1
IV期	11,541	19.6	8,400	19.7	19,941	19.7
不詳	847	1.4	650	1.5	1,497	1.5
観血的治療						
有	51,030	86.9	37,218	87.2	88,248	87.0
原発巣・治癒切除	45,995	78.3	33,543	78.6	79,538	78.4
原発巣・非治癒切除	4,245	7.2	3,102	7.3	7,347	7.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	790	1.3	573	1.3	1,363	1.3
無	7,722	13.1	5,451	12.8	13,173	13.0
発見経緯						
がん検診	6,100	10.4	4,643	10.9	10,743	10.6
健康診断・人間ドック	5,036	8.6	2,988	7.0	8,024	7.9
他疾患経過観察中	14,660	25.0	9,435	22.1	24,095	23.8
その他・不明	32,956	56.1	25,603	60.0	58,559	57.7

\*全体集計には含まれていない

## (3)5年生存率

5年生存率を表3-3①-2に示す。5年相対生存率は、男女ともほぼ同様であり全体では約73%であった。他の部位と同様、年代が高くなるほど、実測生存率と相対生存率の差が大きくなるが、これは高齢者ほど他疾患で亡くなる例が少なくないためと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期では94.4%、II期では89.0%であった。観血的治療を受けたものは、相対生存率は81.7%であり、原発巣・治癒切除例においては86.8%であった。

表3-3①-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	61.7	72.3	71.8 72.8	65.5	73.0	72.5 73.5	63.3	72.6	72.3 73.0
拠点病院等	61.8	72.4	71.9 72.8	65.6	73.0	72.5 73.6	63.4	72.7	72.3 73.0
都道府県推薦病院	60.9	71.8	70.2 73.4	64.4	72.7	70.9 74.4	62.3	72.2	71.0 73.4
年齢									
0-39歳	68.8	69.1	65.5 72.4	70.8	71.0	67.3 74.4	69.8	70.0	67.5 72.4
40歳代	74.1	74.9	73.0 76.7	73.7	74.1	72.1 76.0	73.9	74.5	73.2 75.8
50歳代	72.8	74.9	73.8 76.0	75.3	76.3	75.0 77.5	73.8	75.5	74.7 76.3
60歳代	69.0	73.9	73.1 74.6	74.6	76.7	75.9 77.6	71.0	74.9	74.4 75.5
70歳代	60.6	72.0	71.2 72.8	68.7	74.6	73.8 75.5	63.9	73.1	72.5 73.7
80歳以上	39.9	67.9	66.2 69.5	46.2	65.3	63.9 66.6	43.2	66.5	65.5 67.5
UICC TNM 総合ステージ									
0期*	84.7	97.0	96.5 97.6	90.1	97.7	97.1 98.3	86.5	97.3	96.9 97.7
I期	79.8	93.5	92.7 94.2	86.9	95.9	95.1 96.6	82.6	94.4	93.9 94.9
II期	73.7	88.4	87.5 89.2	78.9	89.9	89.1 90.8	75.9	89.0	88.4 89.6
III期	66.2	76.7	75.8 77.5	71.0	78.5	77.6 79.4	68.3	77.5	76.9 78.1
IV期	17.1	19.3	18.5 20.1	16.7	18.0	17.1 18.9	16.9	18.8	18.2 19.3
不詳	19.9	24.4	21.2 27.9	16.0	20.2	16.8 24.0	18.3	22.7	20.3 25.2
観血的治療									
有	69.7	81.5	81.0 82.0	73.9	82.0	81.5 82.5	71.4	81.7	81.4 82.1
原発巣・治癒切除	73.8	86.5	86.0 86.9	78.5	87.3	86.8 87.7	75.8	86.8	86.5 87.1
原発巣・非治癒切除	27.7	31.8	30.2 33.3	26.9	29.4	27.7 31.1	27.3	30.7	29.6 31.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	53.2	61.6	57.5 65.6	56.6	62.9	58.2 67.3	54.6	62.1	59.1 65.1
無	8.6	10.1	9.4 10.9	7.9	9.2	8.3 10.0	8.3	9.7	9.2 10.3

\*全体集計には含まれていない

## 結腸癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	411	66,007	24,364	98.0	70.9
0期*	406	26,384	3,606	95.8	68.0
I期	409	17,145	3,091	97.6	70.3
II期	409	18,688	4,502	97.9	72.2
III期	408	16,250	5,157	98.0	70.5
IV期	409	12,945	10,822	98.5	69.7

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

対象数は、66,007例、うち死亡数が24,364例、打ち切り数が1,339例で生存状況把握割合は98.0%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-3②-1に示す。男性が約54%、女性が約46%を占め、平均年齢は、70.9歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I～III期が約25%前後であった。約88%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表3-3②-1 結腸 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	35,876	100.0	30,131	100.0	66,007	100.0
拠点病院等	32,682	91.1	27,470	91.2	60,152	91.1
都道府県推薦病院	3,194	8.9	2,661	8.8	5,855	8.9
年齢						
平均年齢 (SD)	70.4	10.8	71.5	12.1	70.9	11.4
0-14歳	(4-6)		0	0.0	(4-6)	
15-39歳	394	1.1	388	1.3	782	1.2
40歳代	1,096	3.1	1,220	4.0	2,316	3.5
50歳代	3,480	9.7	2,993	9.9	6,473	9.8
60歳代	10,368	28.9	7,341	24.4	17,709	26.8
70歳代	13,216	36.8	9,701	32.2	22,917	34.7
80歳以上	7,318	20.4	8,488	28.2	15,806	23.9
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	17,350	-	9,034	-	26,384	-
I期	10,329	28.8	6,816	22.6	17,145	26.0
II期	9,983	27.8	8,705	28.9	18,688	28.3
III期	8,131	22.7	8,119	26.9	16,250	24.6
IV期	6,920	19.3	6,025	20.0	12,945	19.6
不詳	513	1.4	466	1.5	979	1.5
観血的治療						
有	31,626	88.2	26,464	87.8	58,090	88.0
原発巣・治癒切除	28,547	79.6	23,811	79.0	52,358	79.3
原発巣・非治癒切除	2,622	7.3	2,242	7.4	4,864	7.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	457	1.3	411	1.4	868	1.3
無	4,250	11.8	3,667	12.2	7,917	12.0
発見経緯						
がん検診	3,884	10.8	3,435	11.4	7,319	11.1
健康診断・人間ドック	3,122	8.7	2,211	7.3	5,333	8.1
他疾患経過観察中	10,567	29.5	7,514	24.9	18,081	27.4
その他・不明	18,303	51.0	16,971	56.3	35,274	53.4

\*全体集計には含まれていない



## (3)5年生存率

表 3-3②-2 結腸に、属性別 5 年実測生存率と相対生存率を示す。年齢が高くなるほど実測生存率と相対生存率の差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期、II 期では相対生存率は 90%に近い数値であった。

表 3-3②-2 結腸 属性別 5 年生存率

	男性			女性			全体					
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間			
全体	61.1	72.9	72.3	73.5	64.8	72.9	72.2	73.5	62.8	72.9	72.5	73.3
拠点病院等	61.1	72.9	72.3	73.5	64.9	72.9	72.3	73.6	62.8	72.9	72.5	73.4
都道府県推薦病院	60.8	73.1	71.0	75.1	63.4	72.2	70.0	74.2	62.0	72.7	71.2	74.1
年齢												
0-39 歳	67.5	67.8	62.9	72.2	71.2	71.4	66.6	75.7	69.3	69.6	66.2	72.7
40 歳代	72.8	73.6	70.8	76.2	72.8	73.2	70.6	75.7	72.8	73.4	71.5	75.2
50 歳代	73.3	75.4	73.9	76.9	73.9	74.9	73.2	76.4	73.6	75.2	74.0	76.3
60 歳代	69.6	74.6	73.6	75.5	74.3	76.5	75.4	77.5	71.5	75.4	74.7	76.1
70 歳代	61.3	73.0	72.0	74.0	68.7	74.7	73.6	75.7	64.4	73.7	73.0	74.4
80 歳以上	40.7	69.5	67.5	71.4	47.2	66.7	65.2	68.2	44.2	67.9	66.7	69.1
UICC TNM 総合ステージ												
0 期*	84.1	96.8	96.2	97.5	89.7	97.4	96.7	98.1	86.1	97.0	96.6	97.5
I 期	78.9	93.5	92.5	94.4	86.1	95.7	94.8	96.6	81.8	94.4	93.7	95.0
II 期	72.6	88.8	87.7	89.9	79.2	91.1	90.1	92.0	75.7	89.9	89.1	90.6
III 期	65.4	77.5	76.3	78.7	70.5	78.7	77.6	79.8	68.0	78.1	77.3	79.0
IV 期	15.4	17.7	16.8	18.7	15.5	16.8	15.8	17.8	15.5	17.3	16.6	18.0
不詳	20.3	25.0	20.8	29.4	14.5	18.7	14.7	23.2	17.6	22.1	19.2	25.3
観血的治療												
有	68.4	81.5	80.9	82.1	72.9	81.7	81.1	82.3	70.4	81.6	81.2	82.0
原発巣・治癒切除	72.6	86.6	86.0	87.2	77.8	87.3	86.7	87.9	75.0	86.9	86.5	87.4
原発巣・非治癒切除	24.8	28.9	27.0	30.8	24.5	26.9	25.0	28.9	24.7	28.0	26.6	29.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	53.6	63.1	57.5	68.3	52.7	59.6	54.0	64.9	53.1	61.4	57.5	65.2
無	6.1	7.5	6.7	8.5	5.7	6.6	5.8	7.6	5.9	7.1	6.5	7.8

\*全体集計には含まれていない

## 直腸癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	411	35,414	12,523	98.0	67.4
0期*	402	9,442	1,128	95.9	66.8
I期	407	9,520	1,511	97.6	67.6
II期	404	8,164	1,906	98.1	68.8
III期	407	10,216	3,144	98.1	66.5
IV期	408	6,996	5,552	98.2	66.4

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

対象数は、35,414例、うち死亡数が12,523例、打ち切り数が721例で生存状況把握割合は98.0%であった。

対象者の属性を表3-3③-1に示す。男性が約65%、女性が約35%を占め、平均年齢は、67.4歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、III期が28.8%であった。約85%になんらかの観血的治療が実施されていた。

## (2) 対象者の属性

表3-3③-1 直腸 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	22,876	100.0	12,538	100.0	35,414	100.0
拠点病院等	20,988	91.7	11,509	91.8	32,497	91.8
都道府県推薦病院	1,888	8.3	1,029	8.2	2,917	8.2
年齢						
平均年齢 (SD)	67.1	10.9	68.0	12.7	67.4	11.6
0-14歳	0	0.0	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)
15-39歳	314	1.4	255	2.0	569	1.6
40歳代	1,142	5.0	830	6.6	1,972	5.6
50歳代	3,443	15.1	1,889	15.1	5,332	15.1
60歳代	8,136	35.6	3,515	28.0	11,651	32.9
70歳代	6,929	30.3	3,613	28.8	10,542	29.8
80歳以上	2,912	12.7	2,435	19.4	5,347	15.1
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	6,271	-	3,171	-	9,442	-
I期	6,055	26.5	3,465	27.6	9,520	26.9
II期	5,357	23.4	2,807	22.4	8,164	23.1
III期	6,509	28.5	3,707	29.6	10,216	28.8
IV期	4,621	20.2	2,375	18.9	6,996	19.8
不詳	334	1.5	184	1.5	518	1.5
観血的治療						
有	19,404	84.8	10,754	85.8	30,158	85.2
原発巣・治癒切除	17,448	76.3	9,732	77.6	27,180	76.7
原発巣・非治癒切除	1,623	7.1	860	6.9	2,483	7.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	333	1.5	162	1.3	495	1.4
無	3,472	15.2	1,784	14.2	5,256	14.8
発見経緯						
がん検診	2,216	9.7	1,208	9.6	3,424	9.7
健康診断・人間ドック	1,914	8.4	777	6.2	2,691	7.6
他疾患経過観察中	4,093	17.9	1,921	15.3	6,014	17.0
その他・不明	14,653	64.1	8,632	68.8	23,285	65.8

\*全体集計には含まれていない

## (3)5年生存率

表 3-3③-2 直腸に、属性別 5 年実測生存率と相対生存率を示す。年齢が高くなるほど実測生存率と相対生存率の差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I 期では相対性生存率は 90%以上であった。

表 3-3③-2 直腸 属性別 5 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	62.7	71.4	70.7	72.1	67.3	73.4	72.5	74.3	64.3	72.1	71.6	72.7
拠点病院等	62.8	71.5	70.8	72.3	67.3	73.3	72.4	74.3	64.4	72.2	71.6	72.8
都道府県推薦病院	61.0	69.9	67.3	72.4	66.9	74.0	70.7	77.1	63.1	71.3	69.3	73.3
年齢												
15-39 歳	70.4	70.8	65.3	75.6	70.2	70.4	64.3	75.7	70.3	70.6	66.6	74.2
40 歳代	75.3	76.2	73.5	78.6	75.0	75.5	72.3	78.3	75.2	75.9	73.9	77.7
50 歳代	72.3	74.4	72.8	75.9	77.5	78.6	76.6	80.4	74.2	75.9	74.6	77.1
60 歳代	68.1	72.9	71.8	74.0	75.2	77.4	75.9	78.8	70.3	74.3	73.4	75.2
70 歳代	59.3	70.2	68.8	71.6	68.8	74.5	72.9	76.1	62.6	71.7	70.7	72.8
80 歳以上	38.1	63.9	60.9	66.9	42.6	60.3	57.5	63.1	40.1	62.2	60.1	64.3
UICC TNM 総合ステージ												
0 期*	86.0	97.6	96.5	98.5	91.3	98.6	97.5	99.6	87.8	97.9	97.2	98.7
I 期	81.4	93.4	92.3	94.5	88.4	96.3	95.0	97.4	84.0	94.5	93.6	95.3
II 期	75.8	87.5	86.2	88.8	77.8	86.5	84.7	88.1	76.5	87.2	86.1	88.2
III 期	67.1	75.7	74.4	77.0	72.2	78.0	76.4	79.5	69.0	76.5	75.5	77.5
IV 期	19.5	21.6	20.3	22.9	19.7	21.0	19.3	22.8	19.6	21.4	20.4	22.4
不詳	19.4	23.6	18.6	29.1	19.9	23.9	17.3	31.3	19.5	23.7	19.7	28.1
観血的治療												
有	71.7	81.6	80.8	82.3	76.3	82.9	82.0	83.7	73.3	82.0	81.5	82.6
原発巣・治癒切除	75.7	86.2	85.4	86.9	80.3	87.2	86.4	88.1	77.3	86.6	86.0	87.1
原発巣・非治癒切除	32.4	36.3	33.8	38.9	33.0	35.7	32.3	39.1	32.6	36.1	34.0	38.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	52.6	59.7	53.4	65.6	66.5	71.1	62.6	78.3	57.1	63.5	58.5	68.2
無	11.6	13.3	12.1	14.5	12.4	14.3	12.6	16.1	11.9	13.6	12.6	14.6

\*全体集計には含まれていない

## 4. 肝細胞癌と肝内胆管癌

## 肝細胞癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	408	29,570	17,928	98.0	71.1
I 期	399	13,089	5,889	97.8	71.4
II 期	397	8,794	5,270	98.3	70.9
III 期	396	4,918	4,198	98.4	71.2
IV 期	383	2,234	2,113	98.2	69.3

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

対象者は、29,570 例で、そのうち 5 年以内に死亡していたのは 17,928 例、打ち切りが 577 例であった。全体として、生存状況把握割合は 98.0%であった。

対象者の属性を表 3-4①-1 に示す。性別にみると、男性が約 70%を占めた。年代をみると、70 歳代が最も多く男性で 37.7%、女性は 44.7%だった。UICC TNM 総合ステージ別にみると、全体で I 期が約 44%、II 期が約 30%となっていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 69.2%だった。

## (2) 対象者の属性

表 3-4①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	20,760	100.0	8,810	100.0	29,570	100.0
拠点病院等	19,280	92.9	8,155	92.6	27,435	92.8
都道府県推薦病院	1,480	7.1	655	7.4	2,135	7.2
年齢						
平均年齢 (SD)	69.9	10.0	73.9	9.4	71.1	10.0
0-14 歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39 歳	121	0.6	44	0.5	165	0.6
40 歳代	555	2.7	107	1.2	662	2.2
50 歳代	2,300	11.1	446	5.1	2,746	9.3
60 歳代	6,401	30.8	1,824	20.7	8,225	27.8
70 歳代	7,833	37.7	3,937	44.7	11,770	39.8
80 歳以上	3,549	17.1	2,450	27.8	5,999	20.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	8,511	41.0	4,578	52.0	13,089	44.3
II 期	6,270	30.2	2,524	28.6	8,794	29.7
III 期	3,808	18.3	1,110	12.6	4,918	16.6
IV 期	1,799	8.7	435	4.9	2,234	7.6
不詳	372	1.8	163	1.9	535	1.8
取扱い規約治療前ステージ						
I 期	4,083	19.7	2,593	29.4	6,676	22.6
II 期	7,563	36.4	3,355	38.1	10,918	36.9
III 期	4,952	23.9	1,686	19.1	6,638	22.4
IV 期	3,625	17.5	959	10.9	4,584	15.5
不詳	482	2.3	193	2.2	675	2.3
空欄	55	0.3	24	0.3	79	0.3
観血的治療						
有	6,076	29.3	1,905	21.6	7,981	27.0
原発巣・治癒切除	5,608	27.0	1,773	20.1	7,381	25.0
原発巣・非治癒切除	315	1.5	88	1.0	403	1.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	153	0.7	44	0.5	197	0.7
無	14,684	70.7	6,905	78.4	21,589	73.0
発見経緯						
がん検診	131	0.6	22	0.2	153	0.5
健康診断・人間ドック	842	4.1	146	1.7	988	3.3
他疾患経過観察中	13,819	66.6	6,650	75.5	20,469	69.2
その他・不明	5,968	28.7	1,992	22.6	7,960	26.9

## (3)5年生存率

5年生存率を表3-4①-2に示す。全体として、相対生存率は男女ともに約45%とほぼ同様であった。他の部位と比較して、80歳以上を除き年代による実測生存率と相対生存率の差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM分類別にみると、I期では相対生存率は全体で約63%である。観血的治療を受けたものの割合は約3割であるが、観血的治療を受けたものの相対生存率は71.1%であった。

表3-4①-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	38.0	44.7	43.9	45.5	40.1	44.8	43.7	46.0	38.7	44.7	44.1	45.4
拠点病院等	38.4	45.0	44.2	45.8	40.5	45.3	44.1	46.5	39.0	45.1	44.4	45.8
都道府県推薦病院	33.9	40.2	37.3	43.1	34.5	39.0	34.9	43.2	34.1	39.8	37.4	42.2
年齢												
0-39歳	53.5	53.8	44.3	62.3	60.2	60.3	44.5	72.9	55.4	55.6	47.6	62.9
40歳代	46.7	47.2	42.9	51.4	57.7	58.1	48.1	66.9	48.5	49.0	45.1	52.9
50歳代	46.2	47.5	45.4	49.6	56.0	56.7	51.9	61.3	47.8	49.0	47.1	51.0
60歳代	43.3	46.4	45.1	47.7	50.8	52.4	50.0	54.7	45.0	47.8	46.6	48.9
70歳代	37.4	44.7	43.4	45.9	42.1	45.9	44.2	47.6	38.9	45.1	44.0	46.1
80歳以上	22.9	36.9	34.7	39.2	24.8	33.0	30.7	35.3	23.7	35.2	33.6	36.8
UICC TNM 総合ステージ												
I期	55.3	65.2	63.9	66.4	52.8	59.0	57.3	60.6	54.4	62.9	61.9	63.9
II期	40.2	46.9	45.5	48.3	37.6	41.8	39.7	43.9	39.4	45.4	44.2	46.6
III期	14.1	16.7	15.4	18.0	11.6	13.1	11.1	15.4	13.5	15.9	14.8	17.0
IV期	4.0	4.6	3.6	5.7	3.7	4.2	2.4	6.6	3.9	4.5	3.6	5.5
不詳	12.9	15.5	11.6	19.9	10.8	12.6	7.6	18.9	12.3	14.6	11.4	18.2
取扱い規約治療前ステージ												
I期	59.5	68.4	66.6	70.1	57.9	64.1	62.0	66.2	58.9	66.7	65.3	68.0
II期	49.2	58.4	57.1	59.8	45.5	51.0	49.1	52.9	48.0	56.1	55.0	57.2
III期	26.7	31.5	30.0	32.9	23.6	26.7	24.4	29.0	25.9	30.2	29.0	31.5
IV期	8.2	9.6	8.6	10.7	6.2	7.0	5.4	8.9	7.8	9.1	8.2	10.0
不詳	21.1	25.2	20.9	29.7	19.4	21.8	15.8	28.5	20.6	24.2	20.7	28.0
観血的治療												
有	62.1	71.4	69.9	72.8	64.7	70.2	67.8	72.5	62.8	71.1	69.9	72.3
原発巣・治癒切除	64.1	73.7	72.2	75.1	66.2	71.9	69.4	74.2	64.6	73.2	72.0	74.4
原発巣・非治癒切除	34.7	39.4	33.5	45.4	37.7	40.8	29.8	51.7	35.4	39.7	34.5	45.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	46.3	53.8	44.4	62.8	56.6	62.1	44.7	76.5	48.6	55.7	47.5	63.5
無	28.0	33.3	32.5	34.2	33.3	37.6	36.3	38.9	29.7	34.7	34.0	35.4

## 肝内胆管癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	397	4,027	3,320	98.6	70.5
I期	227	559	279	98.4	71.8
II期	266	760	528	98.0	69.9
III期	149	236	186	97.9	70.8
IV期	379	2,324	2,188	99.0	70.2

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

対象者は、4,027例で、そのうち5年以内に死亡していたのは3,320例、打ち切りが55例であった。全体として、生存状況把握割合は98.6%であった。

男性が約62%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く男女ともに約37%を占めた。UICC TNM 総合ステージ別にみると、全体でI期が約14%、II期が約19%、III期が約6%、IV期が約58%と半数以上をIV期が占めた。37.3%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が44.7%を占めた。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-4②-1に示す。性別にみると、

表3-4②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,506	100.0	1,521	100.0	4,027	100.0
拠点病院等	2,337	93.3	1,411	92.8	3,748	93.1
都道府県推薦病院	169	6.7	110	7.2	279	6.9
年齢						
平均年齢 (SD)	70.1	10.3	71.3	10.9	70.5	10.5
15-39歳	20	0.8	15	1.0	35	0.9
40歳代	66	2.6	44	2.9	110	2.7
50歳代	254	10.1	116	7.6	370	9.2
60歳代	789	31.5	421	27.7	1,210	30.0
70歳代	931	37.2	565	37.1	1,496	37.1
80歳以上	446	17.8	360	23.7	806	20.0
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	357	14.2	202	13.3	559	13.9
II期	483	19.3	277	18.2	760	18.9
III期	138	5.5	98	6.4	236	5.9
IV期	1,431	57.1	893	58.7	2,324	57.7
不詳	97	3.9	51	3.4	148	3.7
取り扱い規約治療前ステージ						
I期	110	4.4	81	5.3	191	4.7
II期	420	16.8	232	15.3	652	16.2
III期	392	15.6	234	15.4	626	15.5
IV期	1,214	48.4	764	50.2	1,978	49.1
不詳	221	8.8	121	8.0	342	8.5
空欄	149	5.9	89	5.9	238	5.9
観血的治療						
有	960	38.3	541	35.6	1,501	37.3
原発巣・治癒切除	804	32.1	447	29.4	1,251	31.1
原発巣・非治癒切除	123	4.9	72	4.7	195	4.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	33	1.3	22	1.4	55	1.4
無	1,546	61.7	980	64.4	2,526	62.7
発見経緯						
がん検診	33	1.3	18	1.2	51	1.3
健康診断・人間ドック	194	7.7	87	5.7	281	7.0
他疾患経過観察中	1,144	45.7	656	43.1	1,800	44.7
その他・不明	1,135	45.3	760	50.0	1,895	47.1

## (3)5年生存率

5年生存率を表3-4②-2に示す。全体として、IV期が半数以上を占めていることから相対生存率は全体で約19%であった。他の部位と比較して、年代による実測生存率と相対生存率の差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM 分類別にみると、I期では相対生存率は全体で57.0%である。観血的治療を受けたものの割合は37.3%であるが、観血的治療を受けたものの相対生存率は約45%であった。

表3-4②-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	16.9	19.6	17.9	21.3	16.5	17.9	15.9	20.0	16.8	18.9	17.6	20.3
拠点病院等	17.0	19.7	17.9	21.5	16.7	18.1	16.1	20.3	16.9	19.1	17.7	20.5
都道府県推薦病院	15.3	18.3	12.2	25.5	13.9	15.0	8.9	22.8	14.7	16.9	12.4	22.2
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			35.6	35.7	20.2	51.5
40歳代	18.1	18.3	9.8	28.8	27.3	27.4	15.3	41.1	21.8	22.0	14.7	30.3
50歳代	20.7	21.3	16.4	26.7	20.7	21.0	14.1	28.8	20.7	21.2	17.1	25.6
60歳代	20.1	21.5	18.6	24.6	20.5	21.1	17.2	25.2	20.2	21.4	19.0	23.8
70歳代	16.9	20.0	17.2	23.0	16.8	18.2	15.0	21.7	16.8	19.3	17.2	21.6
80歳以上	7.6	12.7	9.0	17.3	8.6	11.1	7.7	15.3	8.1	12.0	9.4	15.0
UICC TNM 総合ステージ												
I期	49.8	58.7	52.4	64.7	49.3	53.8	46.0	61.1	49.6	56.9	52.0	61.6
II期	29.3	33.4	28.8	38.2	29.6	31.9	26.2	37.9	29.4	32.9	29.3	36.6
III期	16.7	19.7	13.0	27.7	25.7	27.7	18.8	37.4	20.4	23.0	17.5	29.1
IV期	5.3	6.1	4.8	7.5	4.7	5.0	3.7	6.7	5.0	5.6	4.7	6.7
不詳	4.4	5.3	1.7	12.0	5.9	6.3	1.6	15.6	4.9	5.7	2.5	10.9
取扱い規約治療前ステージ												
I期	53.3	63.8	52.1	74.4	54.3	59.3	46.8	70.4	53.7	61.8	53.4	69.7
II期	36.1	42.0	36.6	47.3	38.1	41.6	34.8	48.4	36.8	41.9	37.6	46.1
III期	21.0	24.3	19.8	29.2	19.9	21.5	16.2	27.4	20.6	23.3	19.8	27.0
IV期	3.8	4.2	3.1	5.5	4.4	4.7	3.3	6.4	4.0	4.4	3.5	5.4
不詳	24.7	29.0	22.5	36.0	16.8	18.0	11.5	25.7	21.9	24.9	20.1	30.2
観血的治療												
有	39.5	45.3	41.7	48.9	41.4	44.4	39.9	48.8	40.2	44.9	42.2	47.7
原発巣・治癒切除	43.6	50.1	46.1	54.0	45.2	48.5	43.5	53.4	44.2	49.5	46.4	52.6
原発巣・非治癒切除	17.1	19.2	12.4	27.3	21.0	22.4	13.2	33.1	18.5	20.4	14.8	26.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	25.7	27.9	13.3	45.0	-	-			27.5	29.2	17.3	42.3
無	2.6	3.1	2.3	4.2	2.6	2.8	1.9	4.1	2.6	3.0	2.3	3.8

## 5. 小細胞肺癌と非小細胞肺癌

## 小細胞肺癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	390	9,050	8,030	98.6	70.6
I期	257	668	396	98.1	72.7
II期	249	572	410	98.3	70.7
III期	358	2,529	2,112	98.7	69.8
IV期	386	5,167	5,013	98.6	70.6

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

対象者は、9,050例で、そのうち5年以内に死亡していた者は、8,030例、打ち切りが127例で、全体として生存状況把握割合は98.6%であった。

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてIV期が57.1%、次いでIII期が27.9%であった。病期分布に男女差はほとんどなく、若干女性でIII期の割合が男性より多かった。観血的治療実施を受けた者の割合は、非小細胞肺癌と比較して低く、約9%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約29%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5①-1に示す。対象者は、男性が83.5%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

表3-5①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	7,557	100.0	1,493	100.0	9,050	100.0
拠点病院等	7,076	93.6	1,396	93.5	8,472	93.6
都道府県推薦病院	481	6.4	97	6.5	578	6.4
年齢						
平均年齢 (SD)	70.7	8.5	69.7	9.2	70.6	8.7
15-39歳	11	0.1	(4-6)		17	0.2
40歳代	89	1.2	34	2.3	123	1.4
50歳代	585	7.7	134	9.0	719	7.9
60歳代	2,608	34.5	525	35.2	3,133	34.6
70歳代	3,089	40.9	573	38.4	3,662	40.5
80歳以上	1,175	15.5	221	14.8	1,396	15.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	582	7.7	86	5.8	668	7.4
II期	480	6.4	92	6.2	572	6.3
III期	2,058	27.2	471	31.5	2,529	27.9
IV期	4,349	57.5	818	54.8	5,167	57.1
不詳	88	1.2	26	1.7	114	1.3
観血的治療						
有	713	9.4	114	7.6	827	9.1
原発巣・治癒切除	618	8.2	98	6.6	716	7.9
原発巣・非治癒切除	67	0.9	15	1.0	82	0.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	28	0.4	(1-3)		29	0.3
無	6,844	90.6	1,379	92.4	8,223	90.9
発見経緯						
がん検診	321	4.2	47	3.1	368	4.1
健康診断・人間ドック	648	8.6	82	5.5	730	8.1
他疾患経過観察中	2,216	29.3	409	27.4	2,625	29.0
その他・不明	4,372	57.9	955	64.0	5,327	58.9



## (3)5年生存率

5年生存率を表3-5①-2に示す。全体での5年相対生存率は、IV期が半数以上を占めることから低く約12%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期では相対生存率が47.6%であった。観血的治療を受けた者の割合は少ないが、相対生存率は46.2%であった。

表3-5①-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	9.6	11.1	10.3	11.9	14.1	14.9	13.1	16.9	10.4	11.7	11.0	12.5
拠点病院等	9.9	11.4	10.6	12.2	14.3	15.1	13.2	17.2	10.6	12.0	11.3	12.8
都道府県推薦病院	5.9	7.0	4.8	9.9	10.8	11.7	6.0	19.5	6.7	7.8	5.6	10.5
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	19.0	19.2	11.6	28.2	17.7	17.8	7.2	32.2	18.6	18.8	12.3	26.3
50歳代	14.5	14.9	12.1	18.0	22.6	22.9	16.1	30.4	16.0	16.4	13.8	19.3
60歳代	11.5	12.3	11.1	13.7	16.6	17.1	14.0	20.6	12.4	13.2	12.0	14.4
70歳代	8.6	10.2	9.1	11.5	13.2	14.1	11.3	17.3	9.4	10.9	9.8	12.0
80歳以上	4.6	7.4	5.6	9.6	4.3	5.4	2.6	9.7	4.5	7.1	5.5	8.9
UICC TNM 総合ステージ												
I期	38.7	46.7	41.9	51.5	49.4	52.8	41.0	63.6	40.0	47.6	43.1	52.0
II期	25.4	29.3	24.8	33.9	38.6	41.2	30.6	51.8	27.5	31.3	27.1	35.5
III期	14.8	16.7	15.0	18.5	20.8	21.9	18.1	25.9	15.9	17.7	16.2	19.4
IV期	1.4	1.6	1.2	2.0	3.7	4.0	2.7	5.6	1.7	2.0	1.6	2.4
不詳	13.8	15.8	8.6	25.2	-	-			12.4	14.1	8.1	21.8
観血的治療												
有	38.8	45.0	40.8	49.1	50.3	53.3	43.2	62.7	40.3	46.2	42.3	50.0
原発巣・治癒切除	42.1	48.9	44.3	53.4	54.5	57.4	46.4	67.2	43.8	50.1	45.9	54.3
原発巣・非治癒切除	14.3	16.2	8.0	27.2	-	-			16.6	18.8	10.7	29.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-			-	-			-	-		
無	6.6	7.6	6.9	8.3	11.0	11.7	10.0	13.5	7.3	8.3	7.6	8.9

## 非小細胞肺癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	411	93,019	54,350	98.4	70.5
0期*	107	286	37	96.9	66.9
I期	402	38,095	9,981	98.2	70.5
II期	387	8,293	4,341	98.3	70.9
III期	403	16,107	11,922	98.5	69.8
IV期	409	29,083	26,844	98.7	70.5

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

対象者は、93,019例で、そのうち5年以内に死亡していた者は、54,350例、打ち切りが1,484例で、全体として生存状況把握割合は98.4%であった。

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてI期が約41%、次いでIV期が約31%であった。病期分布に若干女性でI期の割合が男性より多かった。観血的治療を受けた者の割合は、小細胞肺癌と比較して多く、47.9%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が39.5%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5②-1に示す。対象者は、男性が67.0%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

表3-5②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	62,368	100.0	30,651	100.0	93,019	100.0
拠点病院等	58,682	94.1	28,957	94.5	87,639	94.2
都道府県推薦病院	3,686	5.9	1,694	5.5	5,380	5.8
年齢						
平均年齢 (SD)	70.8	9.9	70.0	10.7	70.5	10.1
0-14歳	(1-3)		(1-3)		(4-6)	
15-39歳	341	0.5	307	1.0	648	0.7
40歳代	1,424	2.3	971	3.2	2,395	2.6
50歳代	5,347	8.6	3,125	10.2	8,472	9.1
60歳代	19,300	30.9	9,416	30.7	28,716	30.9
70歳代	23,681	38.0	11,063	36.1	34,744	37.4
80歳以上	12,272	19.7	5,767	18.8	18,039	19.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	140	-	146	-	286	-
I期	22,419	35.9	15,676	51.1	38,095	41.0
II期	6,384	10.2	1,909	6.2	8,293	8.9
III期	12,311	19.7	3,796	12.4	16,107	17.3
IV期	20,152	32.3	8,931	29.1	29,083	31.3
不詳	1,102	1.8	339	1.1	1,441	1.5
観血的治療						
有	27,037	43.4	17,557	57.3	44,594	47.9
原発巣・治癒切除	25,431	40.8	16,868	55.0	42,299	45.5
原発巣・非治癒切除	1,175	1.9	491	1.6	1,666	1.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	431	0.7	198	0.6	629	0.7
無	35,331	56.6	13,094	42.7	48,425	52.1
発見経緯						
がん検診	4,075	6.5	2,829	9.2	6,904	7.4
健康診断・人間ドック	7,785	12.5	4,451	14.5	12,236	13.2
他疾患経過観察中	24,584	39.4	12,145	39.6	36,729	39.5
その他・不明	25,924	41.6	11,226	36.6	37,150	39.9

\*全体集計には含まれていない

## (3)5年生存率

5年生存率を表3-5②-2に示す。全体での5年相対生存率は、男性が39.1%、女性が61.0%と女性でやや高かった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみても、やや男性より女性で相対生存率が高い傾向にあった。観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)では相対生存率は全体で81.1%であった。

表3-5②-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体					
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間			
全体	33.6	39.5	39.1	39.9	56.3	61.0	60.4	61.6	41.1	46.8	46.4	47.1
拠点病院等	34.0	39.9	39.4	40.4	56.7	61.4	60.8	62.0	41.5	47.2	46.8	47.6
都道府県推薦病院	27.7	33.1	31.3	34.8	48.5	53.1	50.5	55.8	34.3	39.6	38.1	41.0
年齢												
0-39歳	44.3	44.5	39.1	49.8	67.7	67.9	62.3	72.9	55.4	55.6	51.6	59.3
40歳代	45.9	46.4	43.7	49.0	63.6	64.0	60.8	67.0	53.1	53.5	51.5	55.6
50歳代	46.1	47.4	46.1	48.8	67.4	68.3	66.6	70.0	54.0	55.2	54.1	56.3
60歳代	40.4	43.3	42.5	44.0	64.5	66.4	65.4	67.4	48.3	51.0	50.3	51.6
70歳代	33.0	39.3	38.6	40.0	56.7	61.5	60.5	62.5	40.6	46.6	46.0	47.1
80歳以上	16.9	27.7	26.6	28.8	33.8	44.9	43.2	46.5	22.3	33.5	32.6	34.5
UICC TNM 総合ステージ												
0期*	79.0	88.9	80.1	95.6	94.5	100.0	94.5	100.0	87.0	94.7	89.8	98.4
I期	64.5	76.6	75.9	77.4	86.5	93.6	93.0	94.2	73.6	83.9	83.4	84.4
II期	42.5	49.6	48.2	51.1	62.9	68.4	66.0	70.8	47.2	54.1	52.8	55.3
III期	21.7	24.8	23.9	25.6	36.9	39.7	38.1	41.4	25.3	28.4	27.6	29.1
IV期	4.7	5.4	5.1	5.7	11.0	11.9	11.2	12.6	6.7	7.4	7.1	7.7
不詳	8.9	12.0	9.8	14.5	15.2	18.5	14.0	23.5	10.4	13.6	11.6	15.8
観血的治療												
有	64.4	74.2	73.5	74.8	85.4	91.3	90.7	91.8	72.7	81.1	80.6	81.5
原発巣・治癒切除	66.2	76.3	75.6	77.0	86.5	92.4	91.8	93.0	74.3	82.9	82.4	83.4
原発巣・非治癒切除	31.8	36.4	33.3	39.5	53.6	57.5	52.7	62.2	38.3	42.8	40.1	45.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	43.7	50.2	44.7	55.5	70.3	75.1	67.7	81.4	52.1	58.2	53.7	62.5
無	9.8	12.1	11.7	12.4	16.8	18.9	18.2	19.7	11.7	13.9	13.6	14.3

\*全体集計には含まれていない

## 6. 女性乳癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	410	71,657	8,752	98.0	59.7
0期*	392	11,037	324	97.4	57.0
I期	408	32,131	1,541	98.1	59.7
II期	406	26,304	2,398	98.0	59.4
III期	398	8,792	2,067	98.0	60.3
IV期	388	4,082	2,595	98.4	59.9

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、71,657例で、5年以内に亡くなっていたのが8,752例、打ち切りが1,399例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は98.0%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-6-1に示す。診断時の年齢をみると、60歳代が最も多かった。また、35歳未満は、1,301例であった(1.8%)。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期が最も多く約45%であった。観血的治療の実施割合は、約90%であった。発見経緯を見ると、大腸や肺と比較してがん検診がやや多かった。

表3-6-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	71,657	100.0
拠点病院等	67,072	93.6
都道府県推薦病院	4,585	6.4
年齢		
平均年齢 (SD)	59.7	13.7
15-39歳	4,295	6.0
40歳代	15,316	21.4
50歳代	14,922	20.8
60歳代	18,832	26.3
70歳代	12,264	17.1
80歳以上	6,028	8.4
35歳未満 (再掲)	1,301	1.8
UICC TNM分類総合ステージ		
0期*	11,036	-
I期	32,131	44.8
II期	26,304	36.7
III期	8,792	12.3
IV期	4,082	5.7
不詳	348	0.5
観血的治療		
有	63,960	89.3
原発巣・治癒切除	59,401	82.9
原発巣・非治癒切除	3,032	4.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	1,527	2.1
無	7,697	10.7
発見経緯		
がん検診	15,424	21.5
健康診断・人間ドック	3,817	5.3
他疾患経過観察中	9,579	13.4
その他・不明	42,837	59.8

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-6-2に示す。全体として、相対生存率は92.1%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期が99.7%、II期が95.5%、III期が80.6%、IV期が37.2%であった。観血的治療実施を受けた者では、全体で96.6%であった。

表3-6-2 属性別5年相対生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	87.7	92.1	91.8	92.4
拠点病院等	87.8	92.1	91.9	92.4
都道府県推薦病院	86.4	91.7	90.6	92.8
年齢				
15-39歳	90.8	91.0	90.1	91.9
40歳代	93.5	94.1	93.7	94.5
50歳代	89.9	91.0	90.5	91.5
60歳代	89.5	92.0	91.5	92.4
70歳代	85.6	92.5	91.8	93.1
80歳以上	63.4	89.5	87.7	91.2
35歳未満 (再掲)	88.3	88.5	86.6	90.2
UICC TNM分類総合ステージ				
0期*	97.0	100.0	100.0	100.0
I期	95.2	99.7	99.4	99.9
II期	90.8	95.5	95.1	95.9
III期	76.3	80.6	79.6	81.5
IV期	35.7	37.2	35.7	38.8
不詳	55.2	65.1	58.6	71.2
観血的治療				
有	92.4	96.6	96.4	96.9
原発巣・治癒切除	92.9	97.1	96.9	97.4
原発巣・非治癒切	85.2	89.2	87.8	90.5
除				
原発巣・治癒/非	87.6	91.8	89.9	93.4
治癒の別不詳				
無	48.0	52.9	51.7	54.1

\*全体集計には含まれていない

## 7. 食道癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	409	26,103	15,042	98.2	68.9
0期*	334	3,642	719	97.4	69.4
I期	396	10,258	3,149	97.9	69.2
II期	370	3,334	1,800	98.7	69.2
III期	389	7,781	5,860	98.5	68.5
IV期	384	4,172	3,785	98.5	68.2

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、26,103例で、5年以内に亡くなっていたのが15,042例、打ち切りが461例であった。全体として生存状況把握割合は、98.2%であった。

みると、60歳代が36.4%、70歳代が36.0%と多かった。UICC TNM分類総合ステージをみると、I期が最も多く約39%、次いでIII期が約30%、IV期が約16%、II期が約13%であった。観血的治療の実施割合は全体で約51%であり、約46%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約26%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-7-1に示す。集計対象のうち男性が約86%、女性が約14%であった。年齢分布を

表3-7-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	22,372	100.0	3,731	100.0	26,103	100.0
拠点病院等	21,522	96.2	3,593	96.3	25,115	96.2
都道府県推薦病院	850	3.8	138	3.7	988	3.8
年齢						
平均年齢 (SD)	68.9	9.1	69.1	11.0	68.9	9.4
15-39歳	43	0.2	28	0.8	71	0.3
40歳代	432	1.9	144	3.9	576	2.2
50歳代	2,685	12.0	508	13.6	3,193	12.2
60歳代	8,357	37.4	1,153	30.9	9,510	36.4
70歳代	8,182	36.6	1,222	32.8	9,404	36.0
80歳以上	2,673	11.9	676	18.1	3,349	12.8
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	3,025	-	617	-	3,642	-
I期	8,910	39.8	1,348	36.1	10,258	39.3
II期	2,791	12.5	543	14.6	3,334	12.8
III期	6,610	29.5	1,171	31.4	7,781	29.8
IV期	3,595	16.1	577	15.5	4,172	16.0
不詳	466	2.1	92	2.5	558	2.1
観血的治療						
有	11,496	51.4	1,914	51.3	13,410	51.4
原発巣・治癒切除	10,274	45.9	1,725	46.2	11,999	46.0
原発巣・非治癒切除	920	4.1	139	3.7	1,059	4.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	302	1.3	50	1.3	352	1.3
無	10,876	48.6	1,817	48.7	12,693	48.6
発見経緯						
がん検診	911	4.1	119	3.2	1,030	3.9
健康診断・人間ドック	2,048	9.2	202	5.4	2,250	8.6
他疾患経過観察中	6,101	27.3	797	21.4	6,898	26.4
その他・不明	13,312	59.5	2,613	70.0	15,925	61.0

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-7-2に示す。全体での相対生存率は、47.5%であり、男性が47.0%、女性が50.3%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、5年相対生存率はⅠ期が約80%、Ⅱ期が約51%、Ⅲ期が約27%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約72%であり、その内原発巣・治癒切除例の相対生存率は約74%であった。

表3-7-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	41.1	47.0	46.2	47.7	46.6	50.3	48.6	52.0	41.9	47.5	46.8	48.1
拠点病院等	41.4	47.3	46.5	48.0	46.7	50.3	48.5	52.1	42.1	47.7	47.0	48.4
都道府県推薦病院	33.7	38.9	35.2	42.7	44.9	49.9	40.3	59.1	35.2	40.5	37.0	44.0
年齢												
15-39歳	48.8	49.1	33.5	62.9	-	-			49.3	49.5	37.4	60.5
40歳代	49.3	49.9	45.0	54.6	54.3	54.6	46.0	62.4	50.6	51.1	46.9	55.1
50歳代	48.3	49.7	47.7	51.6	53.0	53.7	49.2	58.0	49.0	50.3	48.5	52.1
60歳代	45.5	48.7	47.6	49.9	53.1	54.6	51.6	57.6	46.4	49.5	48.4	50.5
70歳代	39.7	47.0	45.8	48.3	47.7	51.5	48.4	54.6	40.8	47.6	46.4	48.8
80歳以上	22.6	36.9	34.3	39.6	26.9	36.3	31.8	40.9	23.4	36.8	34.5	39.1
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	78.1	90.2	88.5	91.9	89.5	96.4	93.5	98.8	80.1	91.3	89.8	92.8
Ⅰ期	68.1	78.4	77.2	79.5	75.2	81.7	79.0	84.1	69.0	78.8	77.8	79.8
Ⅱ期	44.5	50.5	48.4	52.6	51.0	54.9	50.3	59.4	45.6	51.3	49.3	53.2
Ⅲ期	22.7	25.6	24.5	26.8	31.3	33.3	30.5	36.2	24.0	26.8	25.7	27.9
Ⅳ期	7.8	8.8	7.8	9.8	10.9	11.7	9.1	14.6	8.2	9.2	8.3	10.1
不詳	17.8	21.7	17.5	26.2	16.1	18.9	11.0	28.8	17.5	21.2	17.4	25.3
観血的治療												
有	63.0	71.2	70.2	72.2	69.4	73.8	71.5	76.0	63.9	71.6	70.6	72.5
原発巣・治癒切除	65.5	73.9	72.8	74.9	71.5	76.0	73.7	78.3	66.4	74.2	73.3	75.2
原発巣・非治癒切除	41.0	47.0	43.3	50.7	46.9	50.4	41.2	59.1	41.8	47.5	44.1	50.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	45.9	51.5	45.1	57.7	57.5	60.5	44.8	73.6	47.6	52.8	46.9	58.5
無	17.7	20.8	19.9	21.6	22.4	24.8	22.7	27.0	18.3	21.4	20.6	22.2

\*全体集計には含まれていない

## 8. 膵臓癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	409	28,071	24,816	98.5	70.6
0期*	188	497	104	98.0	69.6
I期	367	2,001	1,052	98.2	71.4
II期	398	7,909	6,284	98.7	70.7
III期	384	4,097	3,819	98.4	70.5
IV期	404	13,316	12,976	98.7	70.1

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、28,071例で、5年以内に亡くなっていたのが24,816例、打ち切りが408例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は98.5%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-8-1に示す。集計対象者は、男性が約56%、女性が約44%であった。診断時の年齢

分布は、70歳代が約36%と最も多く、次いで60歳代が約30%、80歳以上が約21%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が最も多く47.4%、次いでII期が28.2%、III期が14.6%であった。観血的治療の実施割合は全体で28.3%であり、23.1%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約29%であった。

表3-8-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	15,619	100.0	12,452	100.0	28,071	100.0
拠点病院等	14,552	93.2	11,566	92.9	26,118	93.0
都道府県推薦病院	1,067	6.8	886	7.1	1,953	7.0
年齢						
平均年齢 (SD)	69.4	10.4	72.0	10.9	70.6	10.7
15-39歳	127	0.8	90	0.7	217	0.8
40歳代	515	3.3	320	2.6	835	3.0
50歳代	1,767	11.3	1,038	8.3	2,805	10.0
60歳代	5,066	32.4	3,299	26.5	8,365	29.8
70歳代	5,536	35.4	4,465	35.9	10,001	35.6
80歳以上	2,608	16.7	3,240	26.0	5,848	20.8
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	289	-	208	-	497	-
I期	1,087	7.0	914	7.3	2,001	7.1
II期	4,417	28.3	3,492	28.0	7,909	28.2
III期	2,180	14.0	1,917	15.4	4,097	14.6
IV期	7,561	48.4	5,755	46.2	13,316	47.4
不詳	374	2.4	374	3.0	748	2.7
観血的治療						
有	4,570	29.3	3,367	27.0	7,937	28.3
原発巣・治癒切除	3,706	23.7	2,791	22.4	6,497	23.1
原発巣・非治癒切除	709	4.5	459	3.7	1,168	4.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	155	1.0	117	0.9	272	1.0
無	11,049	70.7	9,085	73.0	20,134	71.7
発見経緯						
がん検診	97	0.6	66	0.5	163	0.6
健康診断・人間ドック	713	4.6	422	3.4	1,135	4.0
他疾患経過観察中	4,762	30.5	3,408	27.4	8,170	29.1
その他・不明	10,047	64.3	8,556	68.7	18,603	66.3

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-8-2に示す。5年相対生存率は、全体で約12%であった。肝や肺と同様、実測生存率と相対生存率の差は他の部位と比較して小さく、予後があまり良くないがんと考えられる。年代別にみても、実測生存率、相対生存率はほぼ同程度であった。但し、15-39歳では対象者数がやや少なく95%信頼区間の幅が広がっている点に留意する必要がある。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、相対生存率はI期が約53%、II期が約22%、III期が約6%、IV期が約2%であった。観血治療を受けた者の相対生存率は約36%であり、原発巣・治癒切除例のみをみても相対生存率は約40%にとどまった。

表3-8-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	10.2	11.7	11.2 12.3	11.1	12.0	11.4 12.6	10.6	11.9	11.5 12.3
拠点病院等	10.4	11.9	11.4 12.5	11.3	12.2	11.6 12.9	10.8	12.1	11.6 12.5
都道府県推薦病院	7.8	9.2	7.4 11.3	8.2	9.0	7.1 11.2	8.0	9.1	7.8 10.6
年齢									
15-39歳	29.1	29.2	21.4 37.4	44.5	44.6	34.0 54.7	35.5	35.6	29.2 42.1
40歳代	17.3	17.5	14.3 20.9	26.9	27.0	22.2 32.1	21.0	21.2	18.4 24.0
50歳代	14.2	14.6	13.0 16.4	16.0	16.2	14.0 18.6	14.9	15.2	13.9 16.6
60歳代	11.4	12.3	11.3 13.2	13.9	14.3	13.1 15.6	12.4	13.1	12.3 13.9
70歳代	9.7	11.5	10.5 12.4	11.1	12.0	11.0 13.0	10.3	11.7	11.0 12.4
80歳以上	4.1	6.7	5.5 8.1	4.0	5.4	4.5 6.4	4.1	6.0	5.2 6.8
UICC TNM 分類総合ステージ									
0期*	75.2	86.3	80.0 91.5	84.0	90.8	84.6 95.5	78.9	88.2	83.9 91.9
I期	45.6	53.5	50.0 56.9	48.7	53.3	49.7 56.8	47.0	53.4	50.9 55.9
II期	19.2	22.0	20.7 23.3	20.7	22.4	21.0 23.9	19.8	22.2	21.2 23.2
III期	5.6	6.4	5.3 7.6	5.3	5.7	4.7 6.9	5.5	6.1	5.3 6.9
IV期	1.3	1.5	1.2 1.8	1.3	1.4	1.1 1.8	1.3	1.5	1.3 1.7
不詳	5.6	6.9	4.3 10.2	6.0	6.9	4.4 10.1	5.8	6.9	5.0 9.1
観血的治療									
有	30.4	34.4	32.9 35.9	35.4	37.8	36.1 39.5	32.5	35.9	34.7 37.0
原発巣・治癒切除	34.2	38.7	37.0 40.5	39.2	41.9	39.9 43.8	36.4	40.1	38.8 41.4
原発巣・非治癒切除	12.6	14.3	11.7 17.2	13.9	14.8	11.6 18.4	13.1	14.5	12.4 16.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	19.4	22.1	15.5 29.6	28.5	30.6	22.1 39.6	23.3	25.8	20.4 31.5
無	1.8	2.1	1.8 2.4	1.8	2.0	1.7 2.4	1.8	2.1	1.9 2.3

\*全体集計には含まれていない



## 9. 子宮頸癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	373	13,242	3,578	97.0	54.3
0期*	366	22,698	172	87.5	39.8
I期	360	5,943	360	96.0	47.9
II期	276	2,168	537	97.8	60.5
III期	314	3,058	1,161	97.4	57.1
IV期	306	1,899	1,430	98.7	61.6

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、13,242例で、5年以内に亡くなったのは3,578例、打ち切りが399例であった。集計対象全体の生存状況把握割合は97.0%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-9-1に示す。診断時の年齢を見ると、40歳代、15～39歳と比較的若い年代が多かった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約45%と最も多く、次いでIII期が約23%、II期が約16%であった。観血的治療の実施割合は約58%であった。発見経緯を見ると、がん検診が約17%であった。

表3-9-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	13,242	100.0
拠点病院等	12,779	96.5
都道府県推薦病院	463	3.5
年齢		
平均年齢 (SD)	54.3	16.2
15-39歳	2,764	20.9
40歳代	3,204	24.2
50歳代	2,195	16.6
60歳代	2,380	18.0
70歳代	1,633	12.3
80歳以上	1,066	8.1
UICC TNM 分類総合ステージ		
0期*	22,697	-
I期	5,943	44.9
II期	2,168	16.4
III期	3,058	23.1
IV期	1,899	14.3
不詳	174	1.3
観血的治療		
有	7,670	57.9
原発巣・治癒切除	6,882	52.0
原発巣・非治癒切除	514	3.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	274	2.1
無	5,572	42.1
発見経緯		
がん検診	2,235	16.9
健康診断・人間ドック	429	3.2
他疾患経過観察中	1,420	10.7
その他・不明	9,158	69.2

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-9-2に示す。全体として、実測生存率が約73%、相対生存率が約75%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期が約96%、II期が約80%、III期が約64%、IV期が約25%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は約91%であり、その内、原発巣・治癒切除例では約93%であった。

表3-9-2 属性別5年生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	72.7	75.2	74.4	76.0
拠点病院等	72.6	75.2	74.3	75.9
都道府県推薦病院	75.3	77.4	73.1	81.2
年齢				
15-39歳	87.2	87.4	86.1	88.6
40歳代	81.6	82.0	80.6	83.3
50歳代	73.9	74.8	72.9	76.6
60歳代	71.2	73.2	71.3	75.0
70歳代	57.3	62.0	59.3	64.5
80歳以上	32.5	45.1	41.2	49.1
UICC TNM 分類総合ステージ				
0期*	99.2	100.0	99.9	100.0
I期	93.8	95.8	95.1	96.4
II期	75.0	79.2	77.2	81.1
III期	61.6	64.3	62.5	66.1
IV期	24.0	25.2	23.2	27.3
不詳	46.8	51.7	43.2	59.7
観血的治療				
有	89.6	90.8	90.1	91.5
原発巣・治癒切除	91.3	92.5	91.8	93.2
原発巣・非治癒切除	72.4	73.5	69.3	77.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	77.8	79.5	73.9	84.1
無	49.3	53.2	51.7	54.6

\*全体集計には含まれていない

## 10. 子宮内膜癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	372	15,727	2,928	240	98.5	59.9
I期	360	10,846	863	175	98.4	59.2
II期	276	1,004	142	14	98.6	59.3
III期	314	2,209	752	28	98.7	61.0
IV期	306	1,345	1,047	15	98.9	63.1

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、15,727例で、5年以内に亡くなっていたのが2,928例、打ち切りが240例であった。集計対象全体として、生存状況把握割合は98.5%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-10-1に示す。診断時の年齢を見ると、50歳代が約3割と最も多く、次いで60歳代が約28%、70歳代が約16%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が69.0%、II期が6.4%、III期が14.0%、IV期が8.6%であった。観血的治療の実施割合は、約91%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が15.0%であった。

表3-10-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	15,727	100.0
拠点病院等	15,031	95.6
都道府県推薦病院	696	4.4
年齢		
平均年齢 (SD)	59.9	12.5
15-39歳	808	5.1
40歳代	2,359	15.0
50歳代	4,649	29.6
60歳代	4,333	27.6
70歳代	2,533	16.1
80歳以上	1,045	6.6
UICC TNM 分類総合ステージ		
I期	10,846	69.0
II期	1,004	6.4
III期	2,209	14.0
IV期	1,345	8.6
不詳	323	2.1
観血的治療		
有	14,338	91.2
原発巣・治癒切除	12,974	82.5
原発巣・非治癒切除	718	4.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	646	4.1
無	1,389	8.8
発見経緯		
がん検診	1,064	6.8
健康診断・人間ドック	336	2.1
他疾患経過観察中	2,362	15.0
その他・不明	11,965	76.1

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-10-2に示す。全体での5年実測生存率は約81%、相対生存率が約84%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期が約96%、II期が約89%、III期が約68%、IV期が約23%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約89%であり、原発巣・治癒切除例では92.2%であった。

表3-10-2 属性別5年生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	81.3	84.4	83.8	85.1
拠点病院等	81.3	84.4	83.8	85.1
都道府県推薦病院	81.0	84.4	81.2	87.3
年齢				
15-39歳	92.9	93.1	91.1	94.7
40歳代	91.9	92.5	91.3	93.5
50歳代	88.2	89.3	88.3	90.2
60歳代	81.0	83.1	81.9	84.3
70歳代	71.3	77.0	75.1	78.9
80歳以上	43.1	58.2	54.0	62.2
UICC TNM 総合ステージ				
I期	92.0	95.5	94.9	96.0
II期	85.8	89.4	87.0	91.5
III期	65.8	68.2	66.1	70.3
IV期	21.7	22.6	20.3	24.9
不詳	61.4	64.8	58.9	70.2
観血的治療				
有	86.1	89.2	88.6	89.8
原発巣・治癒切除	89.1	92.2	91.6	92.8
原発巣・非治癒切除	40.6	42.2	38.4	45.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	77.8	81.2	77.6	84.4
無	31.0	33.8	31.2	36.5

## 11. 前立腺癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	401	67,094	11,135	98.1	71.4
I期	390	26,439	2,719	98.1	71.2
II期	389	19,371	1,697	98.1	70.1
III期	383	10,051	1,347	98.2	71.4
IV期	392	9,922	4,858	98.1	73.8

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、67,094例で、5年以内に亡くなっていたのが11,135例、打ち切りが1,280例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は98.1%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-11-1に示す。診断時の年齢は、70歳代が約45%、80歳以上が約15%で、70歳以上が6割を占めた。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が最も多く約39%であった。観血的治療の実施割合は、約31%であった。発見経緯を見ると、がん検診が約18%、健康診断・人間ドックが約11%であった。

表3-11-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	67,094	100.0
拠点病院等	62,114	92.6
都道府県推薦病院	4,980	7.4
年齢		
平均年齢 (SD)	71.4 (4-6)	7.8
15-39歳	151	0.2
40歳代	3,804	5.7
50歳代	22,701	33.8
60歳代	30,327	45.2
70歳代	10,107	15.1
80歳以上		
UICC TNM 分類総合ステージ		
I期	26,439	39.4
II期	19,371	28.9
III期	10,051	15.0
IV期	9,922	14.8
不詳	1,311	2.0
観血的治療		
有	20,586	30.7
原発巣・治癒切除	17,113	25.5
原発巣・非治癒切除	2,758	4.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	715	1.1
無	46,508	69.3
発見経緯		
がん検診	12,311	18.3
健康診断・人間ドック	7,368	11.0
他疾患経過観察中	24,745	36.9
その他・不明	22,670	33.8

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-11-2に示す。全体として、5年実測生存率は、約83%、相対生存率が約99%であった。年代が高くなるほど、実測生存率と相対生存率の差が大きくなり、高齢になるほど前立腺がん以外の要因で死亡させている例が多いと考えられた。5年相対生存率は、どの年代も90%以上と高い。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期からIII期では、相対生存率は100%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、治癒切除、非治癒切除例に関わらずほぼ100%であった。

表3-11-2 属性別5年生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	83.3	98.5	98.1	98.8
拠点病院等	83.4	98.4	98.1	98.8
都道府県推薦病院	81.6	99.0	97.6	100.0
年齢				
15-39歳	-	-		
40歳代	89.2	90.3	84.0	94.4
50歳代	94.7	97.7	96.9	98.4
60歳代	91.8	98.7	98.3	99.1
70歳代	84.4	100.0	99.5	100.0
80歳以上	56.2	93.1	91.5	94.7
UICC TNM 総合ステージ				
I期	89.6	100.0	100.0	100.0
II期	91.2	100.0	100.0	100.0
III期	86.5	100.0	100.0	100.0
IV期	50.5	62.5	61.2	63.7
不詳	60.3	81.8	78.1	85.4
観血的治療				
有	95.3	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒切除	95.5	100.0	100.0	100.0
原発巣・非治癒切除	94.5	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	91.5	100.0	100.0	100.0
無	77.9	95.4	94.9	95.8

## 12. 膀胱癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	398	16,091	7,270	98.1	73.6
0期*	381	14,097	2,777	97.7	71.8
I期	383	8,825	2,617	98.0	73.2
II期	374	3,115	1,616	98.0	74.5
III期	346	1,584	1,002	98.7	73.9
IV期	367	1,952	1,610	98.6	72.1

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、16,091例で、5年以内に亡くなっていた者が7,270例、打ち切りが304例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.1%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-12-1に示す。性別でみる

と、男性が約77%、女性が約23%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が最も多く約34%、80歳以上が約33%、6割以上が70歳以上であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約55%と半数以上を占めた。観血的治療の実施割合は、86.0%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が24.0%であった。

表3-12-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	12,368	100.0	3,723	100.0	16,091	100.0
拠点病院等	11,318	91.5	3,418	91.8	14,736	91.6
都道府県推薦病院	1,050	8.5	305	8.2	1,355	8.4
年齢						
平均年齢 (SD)	73.0	10.3	75.4	11.5	73.6	10.7
0-14歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39歳	47	0.4	32	0.9	79	0.5
40歳代	225	1.8	87	2.3	312	1.9
50歳代	879	7.1	205	5.5	1,084	6.7
60歳代	3,185	25.8	672	18.0	3,857	24.0
70歳代	4,362	35.3	1,147	30.8	5,509	34.2
80歳以上	3,669	29.7	1,580	42.4	5,249	32.6
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	11,397	-	2,700	-	14,097	-
I期	7,068	57.1	1,757	47.2	8,825	54.8
II期	2,304	18.6	811	21.8	3,115	19.4
III期	1,150	9.3	434	11.7	1,584	9.8
IV期	1,390	11.2	562	15.1	1,952	12.1
不詳	456	3.7	159	4.3	615	3.8
観血的治療						
有	10,811	87.4	3,031	81.4	13,842	86.0
原発巣・治癒切除	8,294	67.1	2,241	60.2	10,535	65.5
原発巣・非治癒切除	1,338	10.8	438	11.8	1,776	11.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	1,179	9.5	352	9.5	1,531	9.5
無	1,557	12.6	692	18.6	2,249	14.0
発見経緯						
がん検診	79	0.6	(7-9)		87	0.5
健康診断・人間ドック	362	2.9	72	1.9	434	2.7
他疾患経過観察中	3,011	24.3	850	22.8	3,861	24.0
その他・不明	8,916	72.1	2,793	75.0	11,709	72.8

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-12-2に示す。全体の5年実測生存率は約54%、相対生存率が約67%であった。70歳代以上では、実測生存率と相対生存率の差がやや大きくなっていった。年代別にみた相対生存率は、全体としては70歳代で67.8%であるが、80歳以上では55.6%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約86%、Ⅱ期が約59%、Ⅲ期が約43%、Ⅳ期が約19%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は73.8%で、その内原発巣・治癒切除例では79.8%であった。

表3-12-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	56.0	69.6	68.5	70.7	49.1	57.8	55.9	59.7	54.4	66.8	65.9	67.8
拠点病院等	55.8	69.4	68.2	70.5	49.4	58.0	56.0	60.0	54.3	66.7	65.7	67.7
都道府県推薦病院	58.1	72.1	68.3	75.8	46.4	55.3	48.5	61.9	55.5	68.3	65.0	71.5
年齢												
0-39歳	80.7	81.1	66.5	89.9	71.9	72.1	53.0	84.5	77.1	77.4	66.4	85.2
40歳代	80.5	81.5	75.5	86.2	74.3	74.7	64.0	82.7	78.8	79.6	74.5	83.8
50歳代	78.2	80.5	77.6	83.2	71.5	72.5	65.7	78.2	76.9	79.0	76.3	81.5
60歳代	69.8	74.8	73.1	76.5	65.6	67.5	63.7	71.1	69.1	73.6	72.0	75.1
70歳代	58.0	69.4	67.6	71.1	57.3	62.3	59.1	65.3	57.8	67.8	66.3	69.4
80歳以上	34.4	60.2	57.5	63.0	31.4	45.6	42.3	49.0	33.5	55.6	53.4	57.7
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	79.3	97.5	96.6	98.4	83.3	95.1	93.5	96.7	80.1	97.1	96.2	97.9
Ⅰ期	70.4	87.85	86.5	89.17	68.8	80.83	78.21	83.32	70.1	86.4	85.2	87.6
Ⅱ期	49.1	61.15	58.6	63.68	43.2	51.24	47.13	55.29	47.6	58.5	56.4	60.7
Ⅲ期	36.0	43.75	40.4	47.14	36.5	42.22	36.96	47.49	36.2	43.3	40.5	46.2
Ⅳ期	18.0	20.82	18.5	23.22	13.3	14.8	11.8	18.14	16.7	19.1	17.2	21.0
不詳	32.7	43.85	38.0	49.73	22.0	28.33	20.5	36.98	29.9	39.8	35.0	44.7
観血的治療												
有	61.4	75.8	74.6	76.9	57.7	67.2	65.1	69.2	60.6	73.8	72.8	74.8
原発巣・治癒切除	66.4	81.4	80.1	82.6	64.2	74.3	71.9	76.5	65.9	79.8	78.7	80.9
原発巣・非治癒切除	35.1	45.0	41.7	48.3	30.1	36.1	31.0	41.4	33.9	42.8	40.0	45.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	55.9	70.3	66.6	73.8	50.5	60.2	53.8	66.3	54.7	67.9	64.8	71.0
無	18.3	24.8	22.2	27.5	11.6	15.0	12.0	18.2	16.2	21.7	19.7	23.8

\*全体集計には含まれていない

## 13. 喉頭癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	340	6,789	2,128	97.8	70.2
0期*	156	349	49	98.3	68.6
I期	326	2,808	534	97.7	70.2
II期	282	1,540	376	97.9	70.1
III期	245	988	360	97.4	70.8
IV期	268	1,352	814	98.6	69.5

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、6,789例で、5年以内に亡くなっていたのが2,128例、打ち切りが150例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.8%であった。

と、男性が約94%、女性が約6%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代・60歳代で約7割を占めた。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約41%を占めた。観血的治療の実施割合は、約29%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約14%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-13-1に示す。性別でみる

表3-13-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	6,353	100.0	436	100.0	6,789	100.0
拠点病院等	6,183	97.3	426	97.7	6,609	97.3
都道府県推薦病院	170	2.7	10	2.3	180	2.7
年齢						
平均年齢 (SD)	70.2	9.3	69.6	10.6	70.2	9.4
15-39歳	15	0.2	(7-9)		23	0.3
40歳代	85	1.3	(4-6)		91	1.3
50歳代	628	9.9	53	12.2	681	10.0
60歳代	2,291	36.1	146	33.5	2,437	35.9
70歳代	2,238	35.2	147	33.7	2,385	35.1
80歳以上	1,096	17.3	76	17.4	1,172	17.3
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	317	-	32	-	349	-
I期	2,647	41.7	161	36.9	2,808	41.4
II期	1,435	22.6	105	24.1	1,540	22.7
III期	930	14.6	58	13.3	988	14.6
IV期	1,251	19.7	101	23.2	1,352	19.9
不詳	90	1.4	11	2.5	101	1.5
観血的治療						
有	1,864	29.3	133	30.5	1,997	29.4
原発巣・治癒切除	1,518	23.9	112	25.7	1,630	24.0
原発巣・非治癒切除	164	2.6	13	3.0	177	2.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	182	2.9	(7-9)		190	2.8
無	4,489	70.7	303	69.5	4,792	70.6
発見経緯						
がん検診	23	0.4	(1-3)		25	0.4
健康診断・人間ドック	55	0.9	(1-3)		56	0.8
他疾患経過観察中	905	14.2	67	15.4	972	14.3
その他・不明	5,370	84.5	366	83.9	5,736	84.5

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-13-2に示す。全体の5年実測生存率は約68%、相対生存率が約80%であった。70歳代以上では、実測生存率と相対生存率の差が大きくなっていた。年代別にみた相対生存率は、どの年代においても70%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約95%、Ⅱ期が約88%、Ⅲ期が約74%、Ⅳ期が約45%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約79%であった。

表3-13-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	68.0	80.0	78.7	81.4	74.5	80.9	76.2	85.1	68.4	80.1	78.8	81.4
拠点病院等	68.0	80.1	78.7	81.4	74.3	80.9	76.0	85.1	68.4	80.1	78.8	81.4
都道府県推薦病院	65.5	79.2	69.5	87.5	-	-	-	-	66.4	79.5	70.3	87.5
年齢												
15-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	88.2	89.2	80.1	94.6	-	-	-	-	86.8	87.7	78.7	93.3
50歳代	79.8	82.2	78.7	85.3	84.9	86.1	73.1	93.4	80.2	82.5	79.2	85.4
60歳代	76.1	81.7	79.7	83.5	79.4	81.8	74.1	87.7	76.3	81.7	79.8	83.4
70歳代	66.9	79.2	76.9	81.5	74.1	80.2	71.7	87.1	67.4	79.3	77.0	81.5
80歳以上	44.2	75.5	70.4	80.5	57.3	77.4	61.3	91.3	45.0	75.7	70.8	80.5
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	85.1	98.1	93.0	100.0	93.8	100.0	85.6	100.0	85.9	98.7	93.9	100.0
Ⅰ期	80.3	95.1	93.2	96.8	88.8	97.0	90.5	100.0	80.8	95.2	93.4	96.9
Ⅱ期	74.9	88.2	85.4	90.7	80.9	90.0	80.0	97.0	75.4	88.3	85.7	90.7
Ⅲ期	62.6	74.3	70.5	77.9	70.2	74.6	60.0	85.3	63.1	74.3	70.6	77.8
Ⅳ期	38.5	44.3	41.2	47.4	50.5	53.0	42.4	62.7	39.4	45.0	42.0	48.0
不詳	56.0	66.5	53.3	78.1	-	-	-	-	54.8	64.9	52.6	75.9
観血的治療												
有	66.6	78.8	76.2	81.3	76.5	82.5	73.7	89.4	67.3	79.1	76.6	81.4
原発巣・治癒切除	66.3	78.6	75.7	81.4	77.5	83.5	73.8	90.7	67.0	79.0	76.2	81.6
原発巣・非治癒切除	64.9	75.4	66.2	83.3	-	-	-	-	65.2	75.2	66.5	82.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	71.3	83.4	75.0	90.4	-	-	-	-	71.5	83.3	75.2	90.2
無	68.5	80.6	78.9	82.1	73.6	80.2	74.4	85.3	68.8	80.5	79.0	82.1

\*全体集計には含まれていない

## 14. 胆嚢癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	406	6,251	4,587	98.0	73.9
0期*	75	109	18	99.1	69.3
I期	318	897	183	95.8	71.6
II期	329	966	397	98.1	74.4
III期	357	1,181	939	97.9	75.3
IV期	392	2,975	2,870	98.6	73.4

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、6,251例で、5年以内に亡くなっていたのが4,587例、打ち切りが124例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.0%であった。

と、男性が約45%、女性が約55%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が約36%、80歳以上が約33%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が47.6%を占めた。観血的治療の実施割合は、約45%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が37.3%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-14-1に示す。性別でみる

表3-14-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,820	100.0	3,431	100.0	6,251	100.0
拠点病院等	2,591	91.9	3,139	91.5	5,730	91.7
都道府県推薦病院	229	8.1	292	8.5	521	8.3
年齢						
平均年齢 (SD)	73.2	10.1	74.4	10.8	73.9	10.5
15-39歳	(7-9)		10	0.3	17	0.3
40歳代	52	1.8	56	1.6	108	1.7
50歳代	194	6.9	232	6.8	426	6.8
60歳代	670	23.8	742	21.6	1,412	22.6
70歳代	1,059	37.6	1,168	34.0	2,227	35.6
80歳以上	838	29.7	1,223	35.6	2,061	33.0
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	56	-	53	-	109	-
I期	445	15.8	452	13.2	897	14.3
II期	463	16.4	503	14.7	966	15.5
III期	517	18.3	664	19.4	1,181	18.9
IV期	1,293	45.9	1,682	49.0	2,975	47.6
不詳	102	3.6	130	3.8	232	3.7
観血的治療						
有	1,328	47.1	1,479	43.1	2,807	44.9
原発巣・治癒切除	1,122	39.8	1,220	35.6	2,342	37.5
原発巣・非治癒切除	171	6.1	218	6.4	389	6.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	35	1.2	41	1.2	76	1.2
無	1,492	52.9	1,952	56.9	3,444	55.1
発見経緯						
がん検診	18	0.6	22	0.6	40	0.6
健康診断・人間ドック	161	5.7	139	4.1	300	4.8
他疾患経過観察中	1,111	39.4	1,221	35.6	2,332	37.3
その他・不明	1,530	54.3	2,049	59.7	3,579	57.3

\*全体集計には含まれていない



## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-14-2に示す。全体の5年実測生存率はⅣ期が約半数を占めたことから約26%、相対生存率が約31%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約93%、Ⅱ期が約70%、Ⅲ期が約23%、Ⅳ期が約3%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約64%で、その内原発巣・治癒切除例では約73%であった。

表3-14-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	26.2	32.6	30.6	34.6	25.7	29.4	27.7	31.1	25.9	30.8	29.5	32.1
拠点病院等	26.1	32.4	30.3	34.5	25.3	28.9	27.2	30.7	25.7	30.5	29.2	31.9
都道府県推薦病院	27.8	34.6	27.5	42.0	29.9	34.1	28.2	40.3	29.0	34.3	29.7	39.0
年齢												
15-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	45.3	45.7	31.6	58.8	40.2	40.4	27.4	53.0	42.6	42.9	33.3	52.2
50歳代	32.5	33.4	26.7	40.3	33.0	33.4	27.4	39.6	32.8	33.4	28.9	38.0
60歳代	30.0	32.2	28.5	36.0	28.0	28.8	25.6	32.2	29.0	30.4	27.9	32.9
70歳代	28.2	33.8	30.6	37.1	29.1	31.5	28.7	34.4	28.7	32.6	30.5	34.8
80歳以上	17.7	30.0	25.7	34.5	18.8	26.2	23.2	29.4	18.4	27.8	25.3	30.4
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	75.0	91.8	75.3	100.0	92.4	100.0	90.5	100.0	83.5	97.4	87.6	100.0
Ⅰ期	77.5	94.4	89.2	98.8	81.2	92.5	87.9	96.3	79.3	93.4	90.1	96.4
Ⅱ期	56.5	71.9	66.0	77.5	60.6	69.2	64.1	73.9	58.6	70.4	66.6	74.1
Ⅲ期	17.7	22.0	18.0	26.2	20.7	23.8	20.3	27.5	19.4	23.0	20.4	25.8
Ⅳ期	1.9	2.3	1.5	3.3	2.7	3.0	2.2	4.0	2.4	2.7	2.1	3.4
不詳	11.8	15.5	8.5	24.8	16.8	20.9	13.7	29.6	14.6	18.6	13.2	24.8
観血的治療												
有	52.8	65.0	61.7	68.3	56.5	63.7	60.8	66.6	54.7	64.3	62.1	66.5
原発巣・治癒切除	59.8	73.6	69.9	77.0	64.0	72.2	69.1	75.2	62.0	72.9	70.5	75.2
原発巣・非治癒切除	11.5	14.4	9.1	21.1	19.5	21.6	16.0	27.8	16.0	18.5	14.5	23.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	26.1	34.6	16.9	55.3	29.3	33.0	18.1	49.4	27.8	33.8	21.9	46.8
無	2.3	2.9	2.0	4.0	2.1	2.5	1.8	3.4	2.1	2.7	2.1	3.4

\*全体集計には含まれていない

## 15. 腎癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	395	17,182	4,466	97.8	65.9
I 期	385	11,548	1,437	97.6	65.0
II 期	291	839	173	98.1	63.2
III 期	340	2,058	689	98.4	68.3
IV 期	370	2,432	2,026	98.0	68.5

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、17,182 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 4,466 例、打ち切りが 381 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.8%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-15-1 に示す。性別で見ると、男性が約 71%、女性が約 29%であった。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が 31.5%、70 歳代が 29.0%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 67%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 84%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約 51%であった。

表 3-15-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	12,118	100.0	5,064	100.0	17,182	100.0
拠点病院等	11,414	94.2	4,829	95.4	16,243	94.5
都道府県推薦病院	704	5.8	235	4.6	939	5.5
年齢						
平均年齢 (SD)	65.3	12.0	67.2	12.6	65.9	12.2
0-14 歳	(1-3)		(1-3)		(4-6)	
15-39 歳	320	2.6	132	2.6	452	2.6
40 歳代	1,022	8.4	332	6.6	1,354	7.9
50 歳代	2,057	17.0	742	14.7	2,799	16.3
60 歳代	3,937	32.5	1,480	29.2	5,417	31.5
70 歳代	3,458	28.5	1,531	30.2	4,989	29.0
80 歳以上	1,321	10.9	844	16.7	2,165	12.6
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	8,147	67.2	3,401	67.2	11,548	67.2
II 期	523	4.3	316	6.2	839	4.9
III 期	1,481	12.2	577	11.4	2,058	12.0
IV 期	1,755	14.5	677	13.4	2,432	14.2
不詳	212	1.7	93	1.8	305	1.8
観血的治療						
有	10,118	83.5	4,221	83.4	14,339	83.5
原発巣・治癒切除	9,452	78.0	4,007	79.1	13,459	78.3
原発巣・非治癒切除	397	3.3	128	2.5	525	3.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	269	2.2	86	1.7	355	2.1
無	2,000	16.5	843	16.6	2,843	16.5
発見経緯						
がん検診	182	1.5	75	1.5	257	1.5
健康診断・人間ドック	1,852	15.3	627	12.4	2,479	14.4
他疾患経過観察中	6,173	50.9	2,537	50.1	8,710	50.7
その他・不明	3,911	32.3	1,825	36.0	5,736	33.4

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-15-2に示す。全体の5年実測生存率は約74%、相対生存率が約82%であった。年代別にみた相対生存率は、80歳以上を除き80%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約97%、Ⅱ期が約87%、Ⅲ期が約75%、Ⅳ期が約17%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約91%で、その内原発巣・治癒切除例では約94%であった。

表3-15-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	72.8	81.9	81.0	82.8	76.2	82.1	80.8	83.3	73.8	82.0	81.2	82.7
拠点病院等	72.8	81.9	81.0	82.8	76.2	82.1	80.8	83.4	73.8	82.0	81.2	82.7
都道府県推薦病院	72.8	82.0	78.1	85.6	75.1	81.2	74.6	86.7	73.3	81.8	78.5	84.9
年齢												
0-39歳	88.0	88.5	84.3	91.6	90.2	90.4	83.9	94.4	88.7	89.0	85.7	91.6
40歳代	88.0	88.9	86.7	90.8	90.0	90.6	86.8	93.4	88.5	89.3	87.5	90.9
50歳代	83.4	85.7	84.0	87.3	87.2	88.4	85.7	90.6	84.4	86.4	85.0	87.8
60歳代	76.5	81.9	80.4	83.3	80.0	82.2	80.0	84.2	77.5	82.0	80.8	83.1
70歳代	66.7	79.4	77.5	81.3	75.5	82.0	79.6	84.3	69.4	80.3	78.7	81.7
80歳以上	45.5	74.1	69.6	78.5	53.0	70.7	66.1	75.2	48.5	72.8	69.5	75.9
UICC TNM分類総合ステージ												
Ⅰ期	86.3	96.8	95.9	97.6	90.0	96.6	95.5	97.7	87.4	96.7	96.0	97.4
Ⅱ期	76.8	85.9	81.6	89.7	83.1	88.1	83.2	92.0	79.2	86.8	83.6	89.6
Ⅲ期	66.8	76.8	74.0	79.5	65.0	71.0	66.6	75.1	66.3	75.2	72.8	77.5
Ⅳ期	15.5	17.5	15.6	19.5	15.1	16.5	13.6	19.6	15.4	17.2	15.6	18.9
不詳	52.6	60.5	52.4	67.9	54.6	63.4	51.0	74.5	53.2	61.4	54.7	67.7
観血的治療												
有	81.9	91.0	90.1	91.8	85.9	91.6	90.4	92.7	83.1	91.2	90.5	91.8
原発巣・治癒切除	84.4	93.7	92.9	94.5	87.6	93.4	92.3	94.5	85.3	93.6	93.0	94.3
原発巣・非治癒切除	33.8	37.5	32.3	42.7	35.4	37.9	29.1	46.8	34.2	37.6	33.1	42.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	64.8	72.5	65.8	78.6	80.2	85.4	74.7	92.9	68.6	75.7	70.1	80.8
無	26.2	33.5	31.0	36.0	27.2	32.5	29.0	36.2	26.5	33.2	31.2	35.3

## 16. 腎盂尿管癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	386	6,775	3,983	98.0	73.6
0期*	332	1,601	382	97.4	71.9
I期	327	1,326	390	97.7	73.4
II期	311	964	385	97.4	73.8
III期	356	1,906	957	98.1	73.2
IV期	357	2,185	1,931	98.4	73.0

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、6,775例で、5年以内に亡くなっていたのが3,983例、打ち切りが134例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.0%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-16-1に示す。性別で見ると、男性が約67%、女性が約33%であった。診断時の年齢分布を見ると、70歳代が最も多く約39%、80歳以上が約30%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布を見ると、IV期が約32%を占めた。観血的治療の実施割合は、約68%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約34%であった。

表3-16-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	4,544	100.0	2,231	100.0	6,775	100.0
拠点病院等	4,206	92.6	2,064	92.5	6,270	92.5
都道府県推薦病院	338	7.4	167	7.5	505	7.5
年齢						
平均年齢 (SD)	72.6	9.6	75.6	9.5	73.6	9.7
15-39歳	15	0.3	(7-9)		23	0.3
40歳代	66	1.5	16	0.7	82	1.2
50歳代	317	7.0	97	4.3	414	6.1
60歳代	1,181	26.0	411	18.4	1,592	23.5
70歳代	1,789	39.4	825	37.0	2,614	38.6
80歳以上	1,176	25.9	874	39.2	2,050	30.3
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	1,199	-	402		1,601	-
I期	939	20.7	387	17.3	1,326	19.6
II期	671	14.8	293	13.1	964	14.2
III期	1,292	28.4	614	27.5	1,906	28.1
IV期	1,382	30.4	803	36.0	2,185	32.3
不詳	260	5.7	134	6.0	394	5.8
観血的治療						
有	3,154	69.4	1,437	64.4	4,591	67.8
原発巣・治癒切除	2,762	60.8	1,237	55.4	3,999	59.0
原発巣・非治癒切除	274	6.0	131	5.9	405	6.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	118	2.6	69	3.1	187	2.8
無	1,390	30.6	794	35.6	2,184	32.2
発見経緯						
がん検診	18	0.4	(7-9)		26	0.4
健康診断・人間ドック	123	2.7	61	2.7	184	2.7
他疾患経過観察中	1,618	35.6	678	30.4	2,296	33.9
その他・不明	2,785	61.3	1,484	66.5	4,269	63.0

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-16-2に示す。全体の5年実測生存率は約41%、相対生存率が約49%であった。年代別にみた相対生存率は、全体で70歳以上では50%を下まわっていた。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約85%、Ⅱ期が約72%、Ⅲ期が約58%、Ⅳ期が約12%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約67%で、その内原発巣・治癒切除例では約72%であった。

表3-16-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	41.8	51.1	49.4	52.9	38.3	43.9	41.6	46.3	40.7	48.7	47.3	50.1
拠点病院等	41.5	50.7	48.9	52.6	38.0	43.6	41.1	46.0	40.3	48.3	46.9	49.8
都道府県推薦病院	46.6	56.2	49.6	62.6	41.6	48.5	39.7	57.2	45.0	53.6	48.3	58.8
年齢												
15-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	66.2	67.0	53.5	77.4	-	-	-	-	68.1	68.8	57.1	78.0
50歳代	58.3	60.1	54.2	65.4	53.6	54.3	43.8	63.8	57.2	58.7	53.6	63.5
60歳代	50.1	53.7	50.6	56.8	54.1	55.7	50.6	60.5	51.1	54.3	51.6	56.8
70歳代	42.6	51.0	48.3	53.8	41.4	45.0	41.3	48.7	42.2	49.1	46.9	51.3
80歳以上	26.2	43.8	39.6	48.1	25.2	34.3	30.4	38.3	25.8	39.6	36.7	42.6
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	74.4	89.3	86.2	92.2	80.4	90.6	85.8	94.6	75.9	89.6	87.1	92.0
Ⅰ期	69.1	85.2	81.4	88.8	73.2	84.5	79.0	89.3	70.3	85.0	81.9	87.9
Ⅱ期	60.2	74.1	69.4	78.5	58.1	67.7	60.8	74.0	59.6	72.1	68.2	75.8
Ⅲ期	51.0	61.6	58.3	64.9	45.8	51.9	47.4	56.3	49.3	58.4	55.7	61.1
Ⅳ期	9.7	11.5	9.7	13.4	12.4	13.7	11.2	16.3	10.7	12.3	10.8	13.9
不詳	19.2	26.6	20.3	33.7	13.6	17.5	10.8	25.7	17.3	23.4	18.5	28.8
観血的治療												
有	56.5	68.0	65.9	70.1	56.2	63.6	60.7	66.5	56.4	66.6	64.9	68.3
原発巣・治癒切除	60.7	73.0	70.7	75.1	60.7	68.7	65.6	71.8	60.7	71.6	69.8	73.4
原発巣・非治癒切除	20.9	25.4	19.7	31.5	21.2	24.1	16.6	32.5	21.0	24.9	20.3	29.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	41.3	49.2	38.3	59.8	41.2	45.9	32.8	58.5	41.3	48.0	39.6	56.1
無	8.3	11.3	9.4	13.4	5.6	6.9	5.1	9.0	7.4	9.7	8.3	11.2

\*全体集計には含まれていない

## 17. 甲状腺癌

## 甲状腺乳頭濾胞癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	396	13,461	998	97.0	57.7
I期	364	5,522	204	95.7	49.6
II期	268	726	52	97.2	60.6
III期	364	4,102	228	98.1	62.6
IV期	345	2,902	479	98.3	65.5

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、13,461例で、5年以内に亡くなっていたのが998例、打ち切りが401例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.0%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-17①-1に示す。性別で見ると、男性が約26%、女性が約74%であった。診断時の年齢分布をみると、60歳代が最も多く26.0%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が41.0%を占めた。観血的治療の実施割合は、約92%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約45%であった。

表3-17①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	3,459	100.0	10,002	100.0	13,461	100.0
拠点病院等	3,246	93.8	9,378	93.8	12,624	93.8
都道府県推薦病院	3,249	100.1	9,397	100.2	12,646	100.2
年齢	210	6.5	605	6.5	815	6.5
平均年齢 (SD)	58.9	15.1	57.3	15.7	57.7	15.6
0-14歳	11	0.3	18	0.2	29	0.2
15-39歳	413	11.9	1,454	14.5	1,867	13.9
40歳代	481	13.9	1,657	16.6	2,138	15.9
50歳代	653	18.9	1,877	18.8	2,530	18.8
60歳代	987	28.5	2,514	25.1	3,501	26.0
70歳代	720	20.8	1,903	19.0	2,623	19.5
80歳以上	194	5.6	579	5.8	773	5.7
UICC TNM分類総合ステージ*						
I期	1,233	35.6	4,289	42.9	5,522	41.0
II期	202	5.8	524	5.2	726	5.4
III期	940	27.2	3,162	31.6	4,102	30.5
IV期	1,015	29.3	1,887	18.9	2,902	21.6
不詳	69	2.0	140	1.4	209	1.6
観血的治療						
有	3,179	91.9	9,254	92.5	12,433	92.4
原発巣・治癒切除	2,753	79.6	8,215	82.1	10,968	81.5
原発巣・非治癒切除	267	7.7	655	6.5	922	6.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	159	4.6	384	3.8	543	4.0
無	280	8.1	748	7.5	1,028	7.6
発見経緯						
がん検診	55	1.6	301	3.0	356	2.6
健康診断・人間ドック	611	17.7	1,550	15.5	2,161	16.1
他疾患経過観察中	1,586	45.9	4,419	44.2	6,005	44.6
その他・不明	1,207	34.9	3,732	37.3	4,939	36.7

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-17①-2に示す。全体の5年実測生存率は約93%、相対生存率が約97%であった。年代別にみた相対生存率は、どの年代でも94%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でIV期でも90%を超えていた。

表3-17①-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	88.8	96.6	95.4	97.7	93.8	97.6	97.1	98.1	92.5	97.3	96.8	97.8
拠点病院等	88.6	96.5	95.2	97.6	93.7	97.5	97.0	98.0	92.4	97.3	96.8	97.7
都道府県推薦病院	90.8	98.6	93.3	102.1	94.6	98.4	96.2	100.0	93.6	98.4	96.4	100.0
年齢												
0-39歳	99.0	99.4	97.8	100.0	99.6	99.8	99.3	100.0	99.5	99.7	99.3	100.0
40歳代	97.4	98.5	96.5	99.6	98.8	99.4	98.7	99.8	98.5	99.2	98.5	99.6
50歳代	93.5	96.1	93.8	97.8	97.6	98.9	98.1	99.5	96.6	98.2	97.4	98.8
60歳代	88.9	95.2	92.9	97.1	94.5	97.2	96.2	98.0	92.9	96.6	95.7	97.4
70歳代	80.6	95.6	91.9	98.8	87.3	94.4	92.7	96.0	85.5	94.7	93.2	96.2
80歳以上	59.8	100.0	87.9	100.0	70.7	94.3	89.0	99.0	67.9	95.6	90.7	100.0
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	93.7	98.5	96.9	99.8	97.0	99.2	98.7	99.7	96.3	99.1	98.5	99.6
II期	92.5	100.0	95.2	100.0	92.9	98.7	96.0	100.0	92.7	99.1	96.8	100.0
III期	92.0	100.0	99.0	100.0	95.1	99.4	98.6	100.0	94.4	99.8	99.0	100.0
IV期	80.0	89.8	86.9	92.5	85.2	90.8	89.0	92.4	83.4	90.5	89.0	91.9
不詳	77.7	87.9	74.4	97.2	85.0	91.1	83.3	96.5	82.6	90.1	83.5	95.1
観血的治療												
有	91.2	98.6	97.4	99.6	95.6	99.0	98.6	99.4	94.5	98.9	98.5	99.3
原発巣・治癒切除	92.4	99.8	98.6	100.0	96.1	99.4	99.0	99.8	95.2	99.5	99.1	99.9
原発巣・非治癒切除	80.8	87.7	81.9	92.3	90.3	94.6	91.9	96.8	87.5	92.6	90.2	94.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	88.0	95.8	89.0	100.0	94.0	97.6	94.6	99.6	92.2	97.1	94.3	99.1
無	61.5	73.6	66.4	80.1	71.1	79.1	75.2	82.5	68.5	77.6	74.2	80.7

## 甲状腺未分化癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	161	297	275	99.0	72.8
IV期	157	285	264	98.9	72.8

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、297例で、5年以内に亡くなっていたのが275例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、99.0%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-17②-1に示す。性別で見ると、男性が約40%、女性が約60%であった。診断時の年齢分布を見ると、70歳代が最も多く約34%であった。観血的治療の実施割合は、約42%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約15%であった。

表3-17②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	118	100.0	179	100.0	297	100.0
拠点病院等	110	93.2	171	95.5	281	94.6
都道府県推薦病院	(7-9)		(7-9)		16	5.4
年齢						
平均年齢 (SD)	70.4	10.6	74.3	10.0	72.8	10.4
15-39歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
40歳代	(4-6)		0	0.0	(4-6)	
50歳代	12	10.2	(7-9)		21	7.1
60歳代	36	30.5	45	25.1	81	27.3
70歳代	42	35.6	58	32.4	100	33.7
80歳以上	23	19.5	65	36.3	88	29.6
UICC TNM 分類総合ステージ						
II期	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
III期	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
IV期	114	96.6	171	95.5	285	96.0
不詳	(4-6)		(4-6)		(7-9)	
観血的治療						
有	43	36.4	81	45.3	124	41.8
原発巣・治癒切除	16	13.6	42	23.5	58	19.5
原発巣・非治癒切除	23	19.5	33	18.4	56	18.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(4-6)		(4-6)		10	3.4
無	75	63.6	98	54.7	173	58.2
発見経緯						
がん検診	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
健康診断・人間ドック	0	0.0	0	0.0	0	0.0
他疾患経過観察中	16	13.6	28	15.6	44	14.8
その他・不明	102	86.4	149	83.2	251	84.5



## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-17②-2に示す。全体の5年実測生存率、相対生存率ともに10%未満であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表3-17②-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	5.9	7.3	3.2 13.7	7.3	8.6	4.7 13.8	6.8	8.1	5.1 12.0
拠点病院等	5.5	6.8	2.8 13.4	7.2	8.1	4.4 13.3	6.5	7.6	4.6 11.5
都道府県推薦病院	-	-		-	-		-	-	
年齢									
15-39歳	-	-		-	-		-	-	
40歳代	-	-		-	-		-	-	
50歳代	-	-		-	-		-	-	
60歳代	2.8	3.0	0.2 13.2	4.4	4.6	0.8 13.7	3.7	3.9	1.0 9.9
70歳代	7.1	8.4	2.2 20.4	5.0	5.4	1.3 14.3	6.0	6.7	2.7 13.5
80歳以上	-	-		9.7	12.6	5.2 24.0	8.2	11.5	5.1 21.2
UICC TNM 分類総合ステージ									
IV期	6.1	7.6	3.3 14.2	7.1	8.2	4.4 13.5	6.7	7.9	4.9 11.9
不詳	-	-		-	-		-	-	
観血的治療									
有	11.6	14.4	5.3 28.5	13.8	16.1	8.4 26.2	13.1	15.5	9.2 23.5
原発巣・治癒切除	-	-		16.8	19.7	8.4 35.0	15.7	18.2	8.8 30.6
原発巣・非治癒切除	-	-		12.8	14.9	4.7 31.0	13.0	15.1	6.7 27.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-		-	-		-	-	
無	2.7	3.2	0.6 9.9	2.0	2.4	0.5 7.5	2.3	2.7	0.9 6.4

## 甲状腺腫瘍

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	54	70	(7-9)	98.6	59.7
I 期	14	15	(1-3)	100.0	56.7
II 期	14	14	(1-3)	100.0	65.4
III 期	13	13	(1-3)	100.0	67.2
IV 期	24	28	(4-6)	96.4	54.8

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は 70 例で、集計対象全体で生存状況把握割合は、98.6%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-17③-1 に示す。対象数が限られるため全体でのみ示す。診断時の平均年齢は 59.7 歳であった。観血的治療を受けた者が 66

名であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が 28 名であった。

## (3) 5 年生存率

5 年生存率を表 3-17③-2 に示す。全体の 5 年実測生存率が 88.5%、相対生存率が 94.8%であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表 3-17③-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	70	100.0
拠点病院等	70	100.0
年齢		
平均年齢 (SD)	59.7	16.0
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	(7-9)	
40 歳代	12	17.1
50 歳代	(7-9)	
60 歳代	17	24.3
70 歳代	17	24.3
80 歳以上	(4-6)	
UICC TNM 分類総合ステージ*		
I 期	15	21.4
II 期	14	20.0
III 期	13	18.6
IV 期	28	40.0
不詳	0	0.0
観血的治療		
有	66	94.3
原発巣・治癒切除	55	78.6
原発巣・非治癒切除	(4-6)	
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(4-6)	
無	(4-6)	
発見経緯		
がん検診	(1-3)	
健康診断・人間ドック	15	21.4
他疾患経過観察中	28	40.0
その他・不明	26	37.1

	全体			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	88.5	94.8	83.9	100.0
拠点病院等	88.5	94.8	83.9	100.0
観血的治療				
有	90.9	95.6	85.0	100.0
無	-	-		

表 3-17③-2 属性別 5 年生存率

## 18. 女性卵巣癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012-2013	388	11,661	4,728	98.4	58.8
I 期	353	4,385	495	98.0	54.1
II 期	287	954	272	98.0	58.8
III 期	345	3,516	1,998	98.7	60.7
IV 期	342	1,750	1,288	99.0	63.1

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、11,661 例で、5 年以内に亡くなっていた者が 4,728 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.4%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-18-1 に示す。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が最も多く約 27%、次いで 50 歳代が約 24%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 38%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 83%であった。

表 3-18-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	11,661	100.0
拠点病院等	11,027	94.6
都道府県推薦病院	634	5.4
年齢		
平均年齢 (SD)	58.8	14.4
0-14 歳	54	0.5
15-39 歳	939	8.1
40 歳代	1,955	16.8
50 歳代	2,788	23.9
60 歳代	3,171	27.2
70 歳代	1,977	17.0
80 歳以上	777	6.7
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	4,385	37.6
II 期	954	8.2
III 期	3,516	30.2
IV 期	1,750	15.0
不詳	1,056	9.1
観血的治療		
有	9,716	83.3
原発巣・治癒切除	6,610	56.7
原発巣・非治癒切除	2,189	18.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	917	7.9
無	1,945	16.7
発見経緯		
がん検診	410	3.5
健康診断・人間ドック	415	3.6
他疾患経過観察中	2,125	18.2
その他・不明	8,711	74.7

(3) 5年生存率

5年生存率を表3-18-2に示す。全体の5年実測生存率は約59%、相対生存率が約61%であった。年代別にみた相対生存率は、全体としては70歳以上でやや低い傾向にあった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でI期が91.0%、II期が73.7%、III期が44.3%、IV期が27.0%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は69.5%で、その内原発巣・治癒切除例では79.7%であった。

表3-18-2 属性別5年生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	59.2	61.2	60.2	62.1
拠点病院等	59.3	61.3	60.4	62.3
都道府県推薦病院	56.1	58.3	54.1	62.3
年齢				
15-39歳	84.9	85.1	82.7	87.2
40歳代	72.6	73.0	70.9	74.9
50歳代	66.4	67.3	65.5	69.0
60歳代	56.7	58.2	56.4	60.0
70歳代	42.4	45.7	43.4	48.1
80歳以上	19.6	25.8	22.2	29.6
UICC TNM 総合ステージ				
I期	88.6	91.0	90.0	92.0
II期	71.2	73.7	70.6	76.6
III期	42.8	44.3	42.6	46.0
IV期	25.9	27.0	24.9	29.2
不詳	35.5	37.4	34.3	40.4
観血的治療				
有	67.5	69.5	68.5	70.5
原発巣・治癒切除	77.5	79.7	78.6	80.7
原発巣・非治癒切除	39.4	40.8	38.6	42.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	62.4	64.3	61.0	67.4
無	17.3	18.4	16.7	20.3



## 付表一覧

1. 集計対象施設一覧
2. 都道府県別 2012-2013 年 5 年生存率集計
3. 施設別 2012-2013 年 5 年生存率集計